

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 中国支部
平成 30 年度 社会貢献活動

報告書

活動テーマ

公共空間・公共施設の利活用



平成 31 年 3 月

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会
中国支部 技術部会 地域計画委員会

*** 目 次 ***

(頁)

第1章 活動概要	1
1.1 目的	1
1.2 活動内容	2
1.3 活動工程	3
第2章 活動結果	4
2.1 フォーラム「まちトーク2018」の開催	4
2.1.1 開催準備	4
2.1.2 開催概要	15
2.1.3 開催結果	16
2.1.4 参考資料	57
2.2 建コンのPR活動に向けた検討	67
2.2.1 活動概要	67
2.2.2 検討結果	67
2.3 小学生向けの利用マナー教材の更新	71
2.3.1 活動概要	71
2.3.2 活動成果	71
2.4 まちづくり出前授業	74
2.4.1 活動概要	74
2.5 都市政策研究ゼミナールの開催	75
2.5.1 活動概要	75
2.5.2 開催状況	75

参考資料

1. 活動メンバー一覧	参考-1
2. 活動会議議事録	参考-2
3. 活動メンバー感想	参考-21

第1章 活動概要

1.1 目的

平成18年度から7年間は「自転車とまちづくり」をテーマとして活動してきた。

平成25年度から4年間は、安心・安全、賑わい、景観、環境など、総合的なまちづくりにおける様々な課題について探ることを目的とし「やさしいまちづくり」をテーマとして活動してきた。

平成29年度からは、「公共空間・公共施設の利活用」をテーマに掲げ、公共空間や土地活用のあり方など、中国地方における地域活性化や柔軟に対応できるまちづくりのあり方を探り、建設コンサルタント業の認知度・高感度の向上に寄与すべく活動を行うこととした。

道路へのオープンカフェの設置、河川敷へのテラスの整備など、公共空間・公共施設を活用した賑わいづくりはすでに様々な地域で実施されており、広島市においても京橋川沿いのカフェなどが有名である。一方で、活動毎にスキームは異なり、財源・人員の確保や法規制、活動の継続等、クリアすべき様々な課題を抱えている現状がある。それら課題を明確にし、一つずつ解決していくことで、更なる公共空間・公共施設の利活用が活発化することを期待し、本テーマの活動がスタートした次第である。

初年度は、まず各種団体の様々な活動を知ることからはじめ、事例収集や現地視察、国内外の先進地域での動向や課題を共有するフォーラム「エリアマネジメント×官民連携のまちづくり」を開催した。

今年度は、公共空間・公共施設の利活用に向けたアイデア抽出を図るため、学生も参加するワークショップ形式のフォーラムを開催した。

なお、本活動は、公共空間・公共施設を活用したまちづくりのきっかけとなるために、継続的な取り組みの展開を図るものとしている。

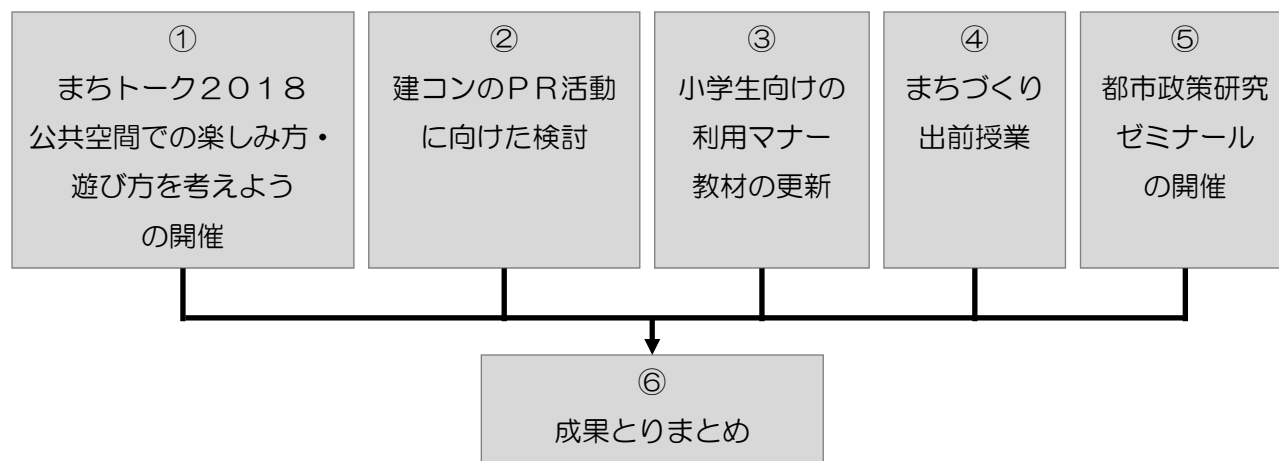
本活動は、(一社)建設コンサルタンツ協会の「第二次中期行動計画 H22.3」に基づく社会貢献のための行動の一環であり、社会資本整備に関わる知見と知識を提供できる専門家集団として、ボランティア活動、各種フォーラム、著作物などを通じて、協会及び建設コンサルタントの情報発信と社会的認知度を高めることをねらいとしている。

(一社)建設コンサルタンツ協会・中期行動計画 <http://www.jcca.or.jp/about/invention/plan2/index.html>

1.2 活動内容

1.2.1 活動の流れ

本活動は下図のフローに示すとおり、5つの活動を順次行い、成果としての本報告をとりまとめた。



1.2.2 活動の対象範囲

活動の対象範囲は広島県全域とし、周辺地域を含めた。

1.2.3 活動の内容

(1) フォーラム「まちトーク2018 公共空間での楽しみ方・遊び方を考えよう」

公共空間・公共施設の利活用に向けたアイデア抽出を図るため、学生も参加するワークショップ形式のフォーラムを開催した。

(2) 建コンのPR活動に向けた検討

大学生等を対象とした都市計画建設コンサルタントのPRを行うため、パンフレットや活動材料の作成について検討した。

(3) 小学生向けの利用マナー教材の更新

平成21年度に、小学生向けの自転車利用マナー教材として作成した下敷きの時点更新を行った。

(4) まちづくり出前授業

地元の小学校などで地域や最新技術に関わる授業を行うことで、建設コンサルタント業界の知名度・地位の向上を図れ、授業をする側も知識・経験の蓄積となった。

(5) 都市政策研究ゼミナールの開催

若手技術者の育成を目的として、有識者を招聘し、都市政策研究ゼミナールを開催した。

(6) 成果とりまとめ

以上の活動成果は、本報告書に記すとおりとりまとめた。

1.3 活動工程

活動は以下に示す工程で実施し、会議はメンバー各社持ち回りで計8回実施した。
 なお具体的な作業については、メンバー内で作業を分担し実施した。

表 活動工程

	H30 (2018) 年										H31 (2019) 年		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
(1) まちトーク2018 公共空間での楽しみ方・ 遊び方を考えよう													
①準備			●										
②実施									●				
(2) 建コンのPR活動に向けた 検討			●										
(3) 小学生向けの利用マナー教材 の更新							●						
(4) まちづくり出前授業		●								●			
(5) 都市政策研究ゼミナール		●		●	●		●		●				
(6) 成果とりまとめ										●			
会議	●	●	●	●	●	●	●	●					

第2章 活動結果

2.1 フォーラム「まちトーク2018」の開催

今年度は、市民参加型、特に学生を中心に、“作戦会議”と称し、これからの公共空間活用を議論するフォーラム「まちトーク2018」を開催した。ワールドカフェの手法を用い、多様な意見・アイデアについて活発な意見交換が行われた。

2.1.1 開催準備

(1) 開催案内

本フォーラムは、市民参加型のイベントであり、特に学生を中心とし幅広い立場・世代の参加者を募った。学生の募集にあたっては、メンバー各社により以下の大学・先生のもとへ参加を依頼した。

また、開催に先立ちフライヤーを作成し、メンバー各社により行政機関や公共施設等に配布した。

【大学への参加依頼先】

大学	学部・学科	先生
広島工業大学	工学部 環境土木工学科	大東 延幸
	工学部 環境土木工学科	今川 朱美
広島大学	大学院国際協力研究科	力石 真
呉工業高等専門学校	環境都市工学科	山岡 俊一
広島修道大学	人文学部	田坂 逸朗
	ひろしま未来協創センター	木原 一郎
福山市立大学	都市経営学部	岡辺 重雄
	都市経営学部	根本 修平
	都市経営学部	渡邊 一成
県立広島大学		和田 崇
安田女子大学		杉山 陽二
広島国際学院大学		谷口 重徳
広島経済大学		貫名 貴洋
呉高専		下岡 優希

まちトーク
2018

公共空間での 楽しみ方・遊び方を考えよう

道路上のオープンカフェ、駅前広場イベント、河川敷レストラン ...
公共空間を使った楽しみが最近増えてきています。
広島のマチを盛り上げるために、公共空間の使い方について
みなさんと一緒に考えませんか？

日時 2018年12月9日（日）14:00～17:00

会場 CLIP HIROSHIMA 1F イベントスペース

プログラム

- 13:30 受付開始
- 14:00 開会挨拶
- 14:05 第1部 話題提供
「公共空間の利活用って何だろう？」
登壇：松田智仁氏（広島市江波山気象館 館長）
- 14:45 休憩
- 14:55 第2部 ワールドカフェ
ファシリテーター：平尾順平氏
（NPO 法人ひろしまジン大学 代表理事）
- 17:00 閉会挨拶

入場無料
どなたでも
参加できます
（定員50名）

■主催

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会中国支部
地域計画委員会

■後援

公益社団法人 日本都市計画学会中国四国支部
公益社団法人 日本技術士会中国本部

■お問い合わせ・申し込み先

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会中国支部 地域計画委員会
まちトーク2018 担当：中電技術コンサルタント 織田・向井

TEL：082-256-3352 FAX：082-256-1968 E-mail：k.oda@cecnet.co.jp

～当日参加もOKですが、できれば電話、FAX、E-mailでの事前申し込みにご協力下さい～
（FAXでお申込みの場合は、裏面の申込み用紙をご利用ください）

話題提供者・ファシリテーターのご紹介

松田智仁（広島市江波山気象館 館長）

1956年広島市中区生まれ。広島工業大学工学部建築学科卒業後、都市計画の実務に携わりたくて五日市町に就職、広島市と合併。都市計画や企画の業務に長年携わるほか、広島大学において都市政策や地域政策等の講義を受け持つ。2017年3月に定年退職。現在は、広島市江波山気象館館長。まちづくりの実践・研究をライフワークとして、建築学会や都市計画学会の活動をはじめ、地域団体である草津まちづくりの会、アニメーション文化振興のNPO活動など、様々なまちづくり活動を実践中。



平尾順平（NPO法人ひろしまジン大学 代表理事）

1976年広島県生まれ。広島市立大学国際学部卒業。学生時代、バックパッカーとしてユーラシア大陸横断などの旅をする。大学卒業後、国際協力の仕事に就き、東南アジア、中央アジア、中米、アフリカなどの人材育成や教育案件を担当する。県外や国外から改めて広島を見つめ直す経験から、広島の魅力と可能性を強く感じ、これからの広島のために自分にできることからしていきたいとの一心で30歳で帰郷。平和記念資料館を管理する広島平和文化センターに2年間勤務したのち退職。2010年5月、ひろしまジン大学を立ち上げ現在に至る。



会場：CLIP HIROSHIMA 1F イベントスペース

■会場までのアクセス■

路面電車の場合

広島電鉄「鷹野橋電停」もしくは「日赤病院前電停」より徒歩7分

バスの場合

広島バス 26号線「竹屋町」バス停より徒歩6分
広島バス 50号線「竹屋町西」バス停より徒歩4分

会場へは
公共交通機関を
ご利用ください

- お問い合わせ・申し込みは、下記の連絡先までお願いします。
- 参加ご希望の際には、下記の参加申込票をご記入のうえ、E-mailまたはFAXにてお申し込みください。
- 定員になり次第、参加募集を cutoff しますので、あらかじめご了承ください。

■会場のご案内■

〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-18



【お問い合わせ・申し込み先】

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会中国支部 地域計画委員会

まちトーク 2018 担当：中電技術コンサルタント 織田・向井

TEL：082-256-3352 FAX：082-256-1968 E-mail：k.oda@cecnet.co.jp

【参加申込票】 …… 下記の項目を明記のうえ、Eメール又はFAXでお申し込みください！

フリガナ
お名前

連絡先
ご住所

電話番号

E-mail

(2) 企画書

「第 1 部 話題提供」、「第 2 部 ワールドカフェ」それぞれの進め方・シナリオ等について、企画書として取りまとめた。

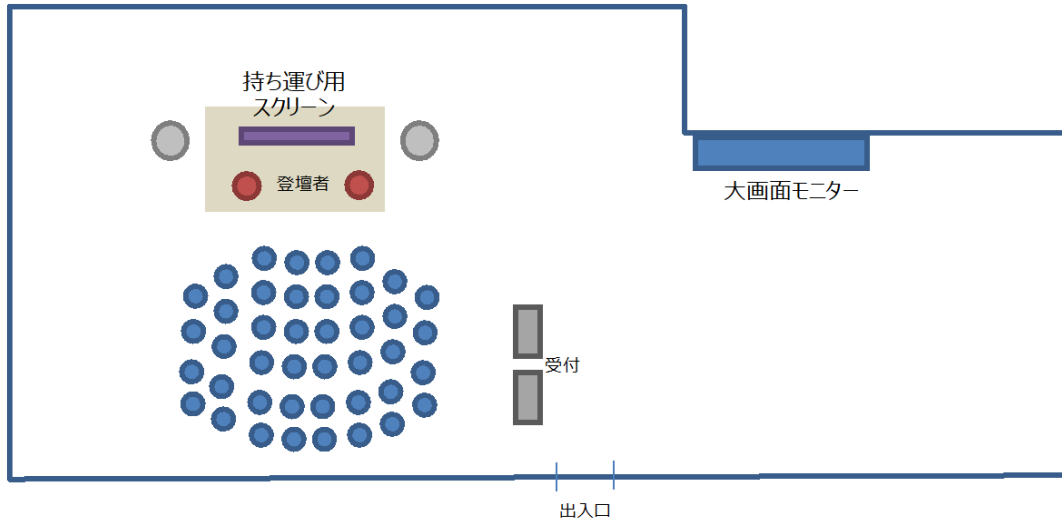
第 1 部 話題提供の進め方 (案)

14:10~14:50 (40分)	公共空間についての説明	松田氏より、公共空間利活用の背景や目的・効果、また広島市での事例について、パワーポイントを用い説明していただく。	
随時	質疑	開始と同時に平尾氏にも登壇していただき、マイクをもって説明の要所で質問を投げかける。 時間があれば、客席、または委員会メンバーから質問する。委員会メンバーは質問者を事前に選定しておく。	
	ポイント	質問 (案)	回答
	スライド p2-3	公共空間とはそもそもどのような場所のことでしょうか？	→パリのシャンゼリゼの写真
	スライド p4-5	日本で言えば、どのような場所に あたるのでしょうか？	→アーケード、歩行者天国
	スライド p6-7		→千田わっしょい祭、広島市屋台
	スライド p8		→つまり、公共空間とは…
	スライド p9	その場所の活用とは？ なぜイマ「活用」がすることが必要なのでしょうか？	
	スライド p10-11	そのメリット (まちに与える効果) とは？	
	スライド p12-13	一方で、やはり難しさもあるのでしょうか？	→規制、ハードルのこと
	スライド p14-19	広島での活用の事例はありますか？	→平和大通りオープンカフェ社会実験の事例から
	スライド p20-22		→元安川パラソルギャラリー&カフェ社会実験の事例から
	スライド p23-25	元安川もですが、最近では京橋川界限も賑わってるように見えます。	→河川空間利用、オープン化について
	スライド p26-32	広島の特徴的な事例、ご紹介いただけますか？	→呉、とうかさ祭り、うらぶくろ
	スライド p33	後半のワークショップを前に、全国の特徴的、参考になりそうな事例はありますか？	→公共空間の利用の分類
スライド p34~ (41-43、45 等)	→後半の事例集からいくつか紹介。		
スライド p48			
		改めて公共空間の活用の目的とは	

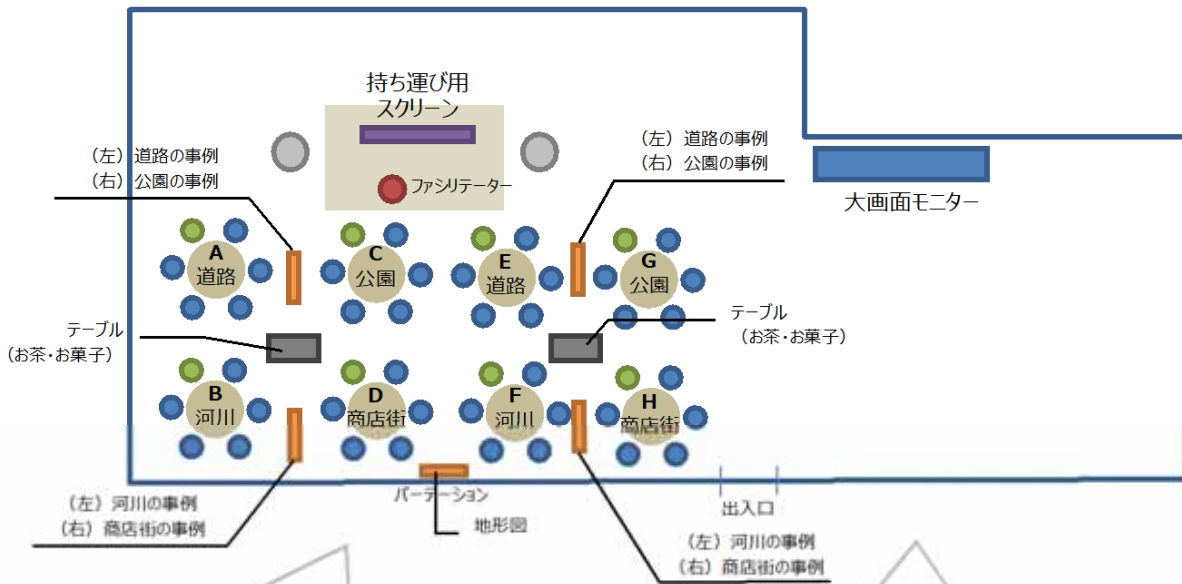
第2部 ワールドカフェの進め方（案）

14:50～14:55 (5分)	ルール説明	ワールドカフェの進め方、ディスカッションの基本的なルール（注意事項）、テーブルごとのテーマ等について説明
14:55～15:00 (5分)	テーブルへ移動	<ul style="list-style-type: none"> ● 第2部に入るにあたり、グループごとに分かれていただきます。 ● 受付で受け取ったアルファベットを再度確認してもらう。 ● 各グループのテーブルファシリテーターが掲げるアルファベットと同じ場所に移動させる。
15:10～15:30 (20分)	ディスカッション①	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 テーブル 5～6人×8 テーブルを想定。参加人数によりテーブル数を調整する。 ● テーブルごとに分野（公園、道路、河川、商店街）を設定し、それぞれの分野の公共空間をどのように活用したいかを議論。各自がより具体的な場所を想定し、特定の場所の利活用に関する発言も可。 ● 参加者は意見をえんたくんに直接記入 ● テーブル移動時は、次のテーブルの番号が書かれた札を配布し、その番号のテーブルへ移動してもらう。
15:30～15:55 (25分)	ディスカッション②	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 回転目以降は、「前の議論ではこんな意見がありました」とテーブルファシリテーターより簡単に説明。テーブルファシリテーターは委員会メンバーより選出。 ● テーブルが記入でいっぱいになった場合は、2枚目の模造紙を利用する。その際、一枚目の模造紙はパーテーションに貼り付ける。 ● ディスカッション①～③それぞれでトークテーマは固定せず、以下の内容についてざくばらんに議論。最初は(ア)～(エ)のような軽い話題からスタート。
15:55～16:20 (25分)	ディスカッション③	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> (ア) それぞれの空間の良いところ/悪いところは？ (イ) それぞれの空間でどんなことをやってみたい？ (ウ) それぞれの空間にどんな機能がほしい？ (エ) 何か良い事例を知っているか？ (オ) 時間帯別の活用方法は？（夜の賑わいを生み出すためには？など） (カ) ターゲット別の活用方法は？（観光客、インバウンド、高齢者、子育て世代に来てもらうには？など） (キ) それぞれの空間でお金を稼ぐにはどうしたらいい？ </div> <ul style="list-style-type: none"> ● ワールドカフェのやり方に慣れてもらう目的で、1回転目のみ時間を短くする。
16:20～16:25 (5分)	休憩	時間調整しろ
16:25～16:40 (15分)	グループまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 各自、最初にしたテーブルに戻ってもらい、「公共空間の活用を進めるための“キーワード”」を考えてもらう。 ● A4用紙に各自記入後、グループ内で自分の考えを発表し合う。
16:40～16:55 (15分)	総括	<ul style="list-style-type: none"> ● 代表して4名程度（各分野1人）自分の考えを発表してもらう。 ● 松田氏より講評、総括していただく。

※第1部 レイアウト



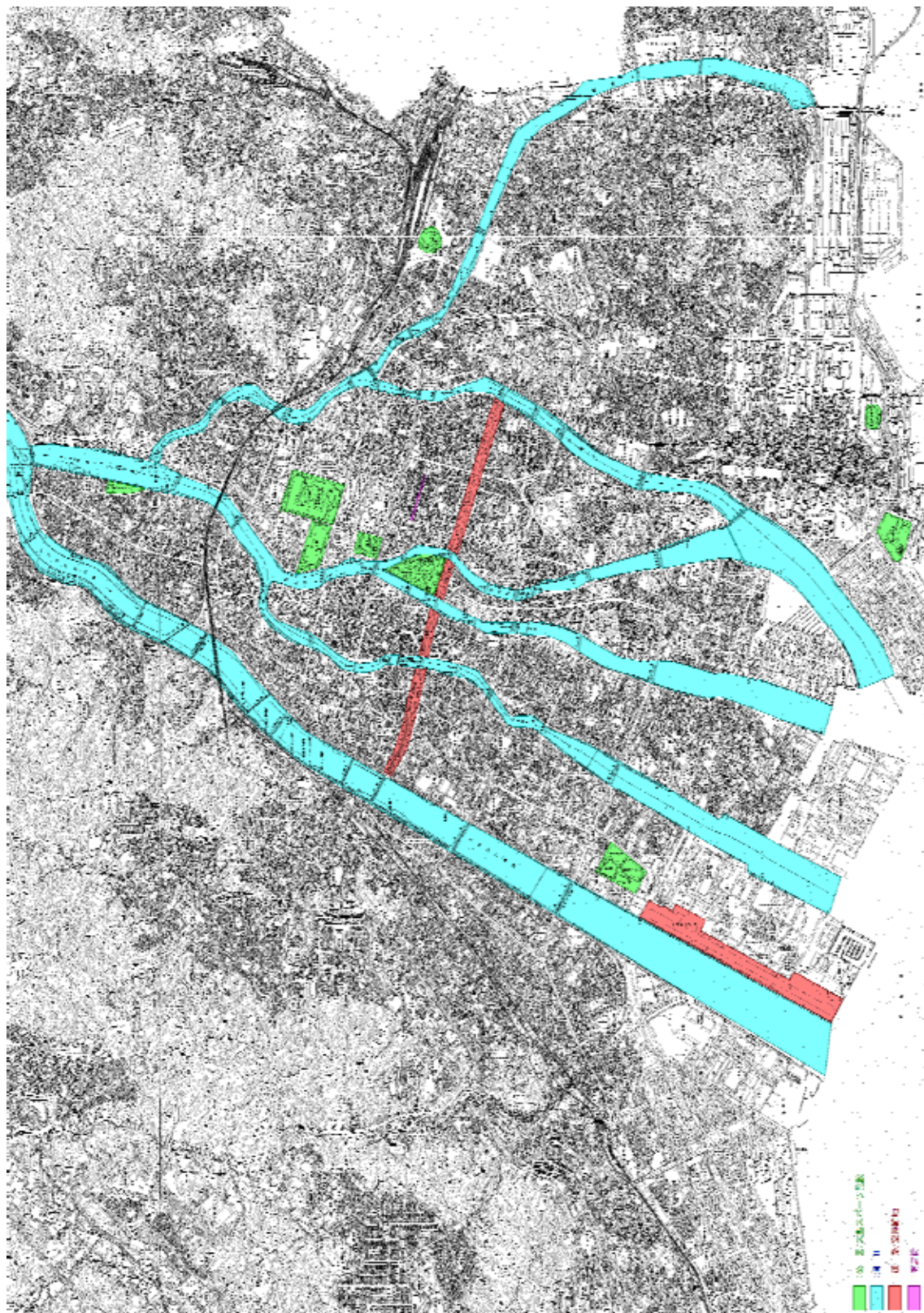
※第2部 レイアウト



(2) 当日展示資料

広島市中心部周辺の地形図、各公共空間の利活用事例を作成し、会場へ展示した。

【広島市中心部周辺図】



【公共空間の利活用事例】

ササトーク2018「公共空間での楽しみ方・遊び方を考えよう」

公共空間活用事例 ～ 道路 ～

広島市の事例

✓ エキキタカラフルマルシェ (広島市 二葉の星)



【概要】
 公共空間が変われば街が変わる！～公共空間活用実証事業～
 エキキタの公共空間を使い倒す活動。広島の名づくり作家さんやおいしいおみせが合計50店舗近く集まるイベント。



広島エキキタカラフルマルシェ Facebook page

他市の事例

✓ 花と光のオープンカフェ (大阪府岸和田市)



【概要】
 一般道路を活用・活用して、市民の憩いの場、交流の場として活用したオープンカフェ



出典: 岸和田市HP <http://www.city.kanwada.nara.jp/>

✓ ひろしまドリミネーション (広島市 平和大通り)



【概要】
 広島の名の風物詩として、平和大通りを中心に約140万球の光でライトアップを展開



出典: ナイトアップ事業実行委員会 HP
<http://www.dreamination.com/>
 ひろしま観光ナビ
<https://www.hiroshima-kankou.com/>

✓ 大分中央通り歩行者天国 (大分県大分市)



【概要】
 歩行者天国となった大分市中央通りで、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭出演団体によるパフォーマンスをはじめ、ゴスペルライブや冬の軽音社大分大会を開催。また、朝食ブースやホロ天屋敷・手旗も登場。一筋吉本市やまちなかタイムガーデンなど楽しいイベントが盛りだくさん。



出典: 大分市HP
<https://www.city.oita.jp/index.html>

公共空間活用事例 ～ 河川 ～

広島市の事例

✓ 水辺のオープンカフェ (京橋川) (広島市)



【概要】
 ・広島市では、美しい水辺を宝として、水辺に新たな魅力を創り出すため、民間のノウハウや活力を導入した「水辺のオープンカフェ」を実施している。
 ・「水辺のオープンカフェ」は公募により選定された民間事業者が運営しており、現在、京橋川で9店舗、元安川で1店舗、本川で1店舗が営業。
 ・各店舗を合わせると、年間16万人もの来客者があり、多くの市民や来訪者に憩いの場、交流の場を提供するとともに、うるおいと安らぎを感じる風景を創り出している。



Ristorante Fontana レストラン・ファンタ
 43 キャラントロフ
 Tei Garden Fal-Fal ティーガーデン・フルフル
 Cafe REGALO カフェ・レガロ
 オイスター・コンクラーベ牡蠣亭
 MUSIMAPAN ムシムパン
 飯沼屋 飯り家
 まな〜び びいすあ

広島市河川管理センター | <http://www.city.hiroshima.jp/www/content/111100774111/index.html>

他市の事例

✓ とんぼりリバーウォーク (水辺遊歩道) (大阪)



【概要】
 ・通称堀川に、親水性の高い憩いの空間として平成7年より遊歩道「とんぼりリバーウォーク」を整備。平成17年度6月よりオープンカフェなどの社会実験を実施し、賑わいを創出に取り組んでいる。



とんぼりリバーウォーク | <http://www.tonbori.or.jp/>

✓ ガワフェス (イベント) (広島市 横川)



【概要】
 ・横川高浜山脈開削が初めて主催する夏のイベント。
 ・川や河津緑地でのアクティビティやお絵かきマジックなど花火などの各種ワークショップのほかに、河津緑地特設ステージでのジャズ、ショーロなどの音楽演奏も行われた。



広島市河川管理センター | <http://www.city.hiroshima.jp/www/content/111100774111/index.html>

✓ 静岡県沼津市 (一級河川狩野川) (盛岡市)



【概要】
 ・「かのがわ川のテラス」は、沼津市中心部を流れる狩野川右岸・土土町周辺に整備された階段一部の名所。
 ・右岸階段を、狩野川の魅力とロケーションを活かした、市民の憩いの場として活用し、まちの魅力や活力の向上につながる取組を推進。(イベント開催、広場と一体をなすオープンカフェ、バーベキュー等)



沼津市 | <http://www.city.niunuma.lg.jp/>

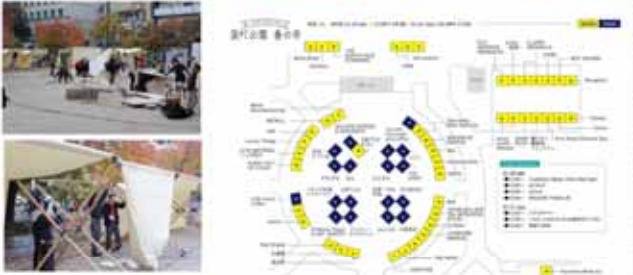
公共空間活用事例 ～公園～

広島市の事例

✓ トランクマーケット (広島市 袋町公園)



【概要】
 広島市内や東京、福岡などからアパレルや雑貨、飲食店が集まる露店の形式による、公園利用型の集客イベント



広島：The Trunk Market (ノックマーケット) | 広島：http://www.trunkmarket.jp/

他市の事例

✓ 公園一体型宿泊施設「INN THE PARK」(静岡県沼津市)



【概要】
 「INN THE PARK」とは「泊まれる公園」をコンセプトとする公園一体型宿泊施設。静岡県沼津市内で長年市民に親しまれ、平成29年3月に運営を終了した青少年向け自然体験施設「沼津市立少年自然の家」の跡地を活用し、新たな視点でリノベーションを加えることで、快適性とエンタテインメント性を併せ持つ施設として、生まれ変わった。



広島：泊まれる公園 (INN THE PARK) | 静岡県沼津市 | http://www.innthePark.jp/

✓ 広島古物会 (広島市 中央公園)



【概要】
 古き良きものと3R(リデュース、リユース、リサイクル)を基に広島を中心に全国から集まった古道具、骨董、国内海外ビンテージやアンティークの店舗が出店。ワークショップや各種イベント、植物店、フードなども提供



広島：広島古物会 (Hiroshima Antique Fair) | 広島：http://www.hiroshima-antique.com/

✓ わいわいコンテナ2 (佐賀県佐賀市)



【概要】
 本プロジェクトは、田舎かに増え続ける空き地を活用して、芝生の“坪っぱ”に置き換え、中古コンテナを使った複合図書館や交流スペース、チャレンジショップを運営し、街なかの回遊性を促すプロジェクトや持続可能な経営管理・運営の仕組みの検証を行うものである。2012年1月1日までに実施した社会実験「わいわいコンテナ1」は、およそ8ヶ月間の実施期間中、延べ15,000人の方に利用され、好評だったことから、2012年6月9日、「わいわいコンテナ2」がスタートした。



広島：わいわいコンテナ2 (Waiwai Container 2) | 佐賀県佐賀市 | http://www.waiwai-container.jp/

公共空間活用事例 ～ 商店街 ～

広島市の事例

✓ 福山市本通・船町商店街アーケード改修プロジェクトとおり町（福山市）



【概要】
 ・江戸時代から400年以上続く本通・船町商店街に30年前につくられたアーケードの改修プロジェクト。
 ・単に改修するのではなく、かつての商店主たちの希望が込められたアーケードの記憶を継承しながら、商店街ならではの風景を新たに再創造させた。
 ・料を渡れる商店街の連帯感を新たな形式で生み出すため、既存柱を残しながら天蓋部分は新築。
 ・既存の柱を活かしながらステンレスワイヤーを架け渡し、自然あふれる細木の下で“歩く喜び”を感じられる公園的なストリートスケープへ生まれ変わらせた。



広島市商店街アーケード（福山市本通・船町商店街）アーケード改修プロジェクト
 Street Garden（写真提供：特） | Street Design Assoc.
<http://www.streetdesign.jp/>

他市の事例

✓ 銀天街まちなか空間活用（icofoco）（愛知県松山市）



【概要】
 ・田舎の賑わい創出のため、松山市高松市の店舗空間と通歩空間を一体的に活用したまちなか空間づくりを実験的に行い、空間活用の効果検証や周辺化を見据えた手法を模索。



松山市まちなか空間活用
 icofoco
<http://www.icofoco.jp/>

✓ あさまちときめきマルシェ（呉市）



【概要】
 ・「田舎の例を打ちきれない別に！」をのび富麗に、毎回県内外から集まる、素晴らしいメンバーと開催する、ときめきマルシェ“あさまち朝市”。



あさまち Facebook
<https://www.facebook.com/asa-machi/>

✓ 材木町商店街「よ市」（盛岡市）



【概要】
 ・1974年にスタートしたよ市は、盛岡市材木町の商店街で430㎡に張り広げられる路上買物市。2018年は第45回目。歩行者天国となる通りには市井からの出店者も含めると、100店舗以上の出店が出店。
 ・旬の野菜や果物、花、海産物や手作りのパン、地ビールなどが販売され、お年寄りから家族連れ、小さい子供までと幅広い客層で賑わう。



盛岡市「よ市」盛岡市材木町（盛岡市）
<http://www.yoichi.jp/>

2.1.2 開催概要

フォーラム「まちトーク2018」の開催概要を以下に示す。

開催日時：H30年12月9日(日) 14:00～17:00

場 所：CLIP HIROSHIMA 1F イベントスペース

参加者数：一般公募 46 名、地域計画委員会委員 26 名 計 72 名

プログラム：

13:30～14:00	受付開始
14:00～14:10	開会挨拶、趣旨説明
14:10～14:50	第1部 話題提供「公共空間の利活用って何だろう？」 登壇：松田智仁氏（広島市江波山気象館 館長）
14:50～15:00	第2部 導入（ワールドカフェの説明⇒移動）
15:00～15:10	休憩
15:10～16:55	第2部 ワールドカフェ ファシリテーター：平尾順平氏（NPO 法人ひろしまシン大学 代表理事）
16:55～17:00	閉会挨拶

第1部は、話題提供「公共空間の利活用って何だろう？」と題し、公共空間を利活用する背景や目的、課題、事例等について、広島市江波山気象館館長の松田氏にご登壇いただいた。なお、第1部は、第2部ワールドカフェでファシリテーターを務める平尾氏との対話形式により進められた。

第2部のワールドカフェでは、ひろしまシン大学代表理事の平尾氏の進行のもと、参加者が8つのテーブルに分かれ、ワールドカフェ方式によるディスカッションを行った。「道路」「河川」「公園」「商店街」といった4種類の公共空間をどのように活用したいかをテーマとし、計3回メンバーを入れ替えながら議論された。最後に、「〇〇で■■したい！」をテーマにグループごとにとりまとめ、代表者数名に発表していただいた。また、総括として、第1部にてご登壇いただいた松田氏、本通り商店街を拠点にまちづくり活動に取り組むNPO 法人セトラひろしまの若狭氏から講評の言葉をいただいた。



第1部 話題提供



第2部 ワールドカフェ

2.1.3 開催結果

第1部 話題提供の内容、第2部 ワールドカフェの議論の結果及び総括内容を以下に示す。

【第1部 話題提供】

松田 私は元広島市役所の職員だったんですけど、今、退職して広島市江波山気象館で気象博物館の館長をしています。今日は昔を思い出しながら資料をまとめましたので、平尾さんに少しほじくっていただきながら、皆さまに紹介したいと思います。まず、これはパリのシャンゼリゼ通りなんです。私も実は行ったことがあるんですが、当時の写真は古いので別のところから取りましたけど、どうしてパリでは道路上に店があるの。最近、海外に行かれる方が多くて、日本ではない景色を海外の都市で見られます。買い物だけで疲れたときに道路で休める、お茶が飲める、実はアルコールも出せるんですけど、こういう空間がヨーロッパの各都市にあります。アメリカにもあります。

平尾 これは行政が運営しているカフェなんですか。

松田 これは民間の事業者が許可を得て運営をされているんですね。これはパリ市における歩道でのオープンカフェの営業で条例がありまして、ここでオープンテラスと囲い込みテラスという2種類、建物1階部分がレストラン、カフェ、居酒屋、アイスクリーム屋を営業してるものに許可をすると。あとから出てきますけど、地先営業という、民地でご商売をされている方が、その道路の自分の店の前に、このテラスを出して、そこで飲食物などを提供するという場合に許可される条件があるんです。

平尾 これはクレープ屋は駄目なんですか。

松田 クレープ屋、このレストランの一部の営業形態だと思います。ありますね。

平尾 すみません、真面目に答えてもらって申し訳ないです。書いてあることだけかなと思いましたが、含まれていますね。

松田 こういう条例をつくって、ちゃんと海外でやっている一つの事例でございます。実はわが国では広島市でも広島本通商店街とかあります。アーケード。それから中央通りが以前も歩行者天国というのをやっていた。今はどうかさんやえべっさんしかやっていませんけども。この歩行者空間、実はほとんどのアーケードは自動車も通れる道路なんですけど、道路交通法、ち



よっとややこしいのが出てきますけども、道路交通法の時間規制で車が入っちゃ駄目よという規制をしてやっています。昔はずいぶん呼び名も違ったりした時代もあるんですが、アーケードと歩行者天国っていうのが最もわかりやすい事例になりますね。これは長々と小さい字で書いてあるんですけども、この部分、日本初の歩行者天国が、どれであるかは、諸説あるものも、歩行者天国という名前が一般的になる前からあったんです。遊戯道路、これすごい名前ですね。

平尾 遊戯、遊び戯れるところ。

松田 子どもの遊び場がなかった戦後すぐ、子どもがたくさん遊ぶところが必要だったのに公園が整備されてなかったということで、私は 1956 年生まれなんですけども、その2年後に遊戯道路が設けられたと書いてあります。

平尾 これは歩行者天国の始まりという一つの。

松田 そうです、原点といわれている。

平尾 公園のようなかたちで使われたんですね。

松田 そのほか、お年の多い方は耳に覚えがあると思いますけど、美濃部亮吉さんという東京都知事の提唱で、1970年に銀座、新宿、池袋、浅草でおこなわれたというふうにいわれています。

平尾 今、銀座はお休みになると大々的な歩行者天国になる。

松田 その後、実は減ってきているんですね。歩行者天国で通行止めになった道路は 2008 年度末で 541 本、10 年前の 1998 年のほぼ半分になっている。

平尾 なんです、それは。

松田 これはドーナツ現象というかたちで、商店街が郊外の大型スーパーマーケットに移行して、歩行者天国にしてまで商店街をはやらされるほどニーズがなくなってきたという寂しい事実があります。

平尾 人がどんどん郊外に移っているということもあるんですね。

松田 そうですね。あと、ちょっとここに残念な、秋葉原の歩行者天国は通り魔事件、自動車で突っ込んで、降りて切りつけたという事件がありましたね。そういうことがあって、一時閉鎖された時期があります。これからオリンピックの関係でテロ対策のために歩行者天国をやめようというような検討も一部のところでは起こっています。

ちょっと画面が暗いので申し訳ないんですけども、ここです。これは千田わっしょい祭という公共空間を活用したフリーマーケット、音楽イベントなどがおこなわれているものなんです。これはなんと始まったのは平成9年5月ですけども、この場所が変わったのが平成10年8月からで、毎月開催のイベントになっていまして、毎回2万人近い来場者でにぎわっている。これはいろんな賞を取ってまして、平成13年には、まちづくりデザイン賞、平成18年にはひろしま千客万来賞、平成18年には国土交通大臣賞を受賞しています。今年の11月18日でなんと358回目というふうに、そこの公園で本当に大にぎわいです。これはビックノーズの山根さんという、この地域で有名な方の提案で活動がはじまりました。

平尾 平成9年ごろってこういう動きは斬新な、今でこそ公園を活用してマーケットとかあると思うんですけども、当時はかなり斬新な。

松田 斬新でした。広島大学の千田地区が初めて地域おこしでなんとかしたい。だけど、道路の上でフリマはできませんし、民地とか閉まっているお店とかいろんなアイデアがあったんですけど

ども、不特定多数の人に来てもらうということで、工学部跡地の公園で始めて、それから本部のほうに引っ越したということですね。

それから、年の多い方は少しご記憶でしょうか。屋台が都心部のあちこちにあったんです。最後は記憶では中央通りと平和大通りの角に現在広島東急 REI ホテルというのが建っているところに広島銀行がありまして、あそこの前に屋台があったのが最後だと思います。そもそも広島はお好み焼きの屋台がたくさんありまして、それが今、立体的にお好み村というビルになっているんです。新天地にたくさんのお好み焼き屋さんがあって、このお好み焼きみっちゃん総本店という店とか正弁丹吾とか、このななしやさんっていうのは、現在も東税務署の隣にあるんですけども、もともとは書いていないですけども、タガワビルというビルの駐車場のスペースを借りて屋台営業をされていました。私は実はななしやさんの真正面に住んでいまして、窓から準備を始められる光景とか、お客さんが入る光景とかを見ていました。

平尾 屋台ですか。それはいつごろ。

松田 50年前です。私は1956年生まれですから、1970年とか、中学生から高校になるぐらいですけども、駐車場のスペースに屋台を出されて、椅子は歩道のほうに出ていたと思いますけども。そういう営業形態で。

平尾 福岡では屋台はありますし、広島は呉かなというイメージがありますが、広島市内でもけっこう屋台があったんですね。

松田 ありましたね。真ん中の写真がかなり古くて1930年戦前の流川にあった勧銀前。これはちょっとわかりにくいんですが、この明かりがついているところに屋台が4軒ありますけども、これが歩道です。車道側を歩いていて、この歩道と車道のぎりぎりのところに丸い木の椅子があってそれに座るタイプと、長い板状の椅子に座るタイプとありました。

平尾 ラーメン屋さんみたいですね。けっこうお祭りのときは、中央通りの歩道が全部屋台になったりしますけども、あんなイメージが外側に向いているような感じですよ？

松田 そうですね、そんな感じですね。このななしやさんもそうですけど、お客さんが帰ったあと、水を流してきれいに掃除をしてから普通の朝を迎えるという感じ。

平尾 夜も使っていますけど、その屋台の建具というか、昼間はどこに置いていたんでしょうね？

松田 ななしやさんのタガワさんっていうビルの端っこのほうにコンパクトに畳んでやられていました。呉市の屋台も別の場所に収納スペースがあって、そこから引っ張ってきて組み立てて、営業をして、終わったらまた小さくコンパクトにして引っ張って行ってどっかに収納するってなっているんですね。

平尾 もちろん今は見られないのはわかりますけど、法律が変わったとかなんか社会的な状況が変わったんですか。

松田 取り締まりが十分できないので、公然と見逃していたようなことになるかとは思いますが。ただ、あとからご紹介しますが、例えば高知の日曜市とか、現在でも公道で堂々とやっているものもありますけども、それは許可を取ってやられているんですね。福岡の屋台のように、現在の代が終わったら、もう新規には出せないというようなところもありますし、呉市の屋台さんのように空きが出れば、公募をせずと屋台の列を維持するような活動をされているところもあります。

平尾 すべて許可？

松田 現在は許可。

平尾 このころは許可もない？

松田 許可も何もなくて、ただ、このお好み焼き屋さんですね、ここに若狭さんもいらっしゃいますけども、新天地広場の平面のお好み村というのは、組合があって、そこが、ここは誰々、ここは誰々っていうふうに配置してやっていたというふうに聞いています。

ここから四文字のちょっと硬いお話なんですけども、公共空間とは個人に属さない公の空間、つまり皆さん、民有地から一步外に出ると、一般的には道路なんですけども、個人に属さない公の空間、公という言葉から官製、行政が官の代表になっていますけども、官製ということが想像されますけども、公的に整備された空間でなくても開放されている公共性の高い空間が含まれる。例えば駅、JRという会社、今は国営じゃなくて民営になりましたけども、駅、病院、図書館、劇場、この劇場も官の劇場じゃなくて民の劇場もありますし、ちょっと聞き慣れない言葉で公開空地っていう、これは建築基準法上の公共空間なんですけども、高いビルが建つ足元にベンチなどが置いてあるところ、例えばクリスタルビル（広島クリスタルプラザ）の1階とか、公開空地と呼ばれた部分があって。土地の権利は民有地なんですけども、公共空間の仲間というふうになっています。

平尾 民が持っているのに、公共なんです。

松田 そうですね、学校は安全上の問題で門を閉めたりしていますけども、いっとき開かれた塀のない学校が設計された時代もあります。代表的なものは、道路とか公園とか花壇用地とかいったものを公だったんですね。実際には図書館の前に広場があったりして、そこを公共区間としてイベントに活用するようなこともあったんです。

ここからはちょっとややこしい話になるんですけど、一応、公物な場合、道路の場合は道路法、河川の場合は河川法ってありまして、公園の場合は2つありまして、ここに書いていませんけども、都市公園法と自然公園法っていうのがあります。この会場の隣にある公園は都市公園となっていて、都市公園法の適用を受けている公園になります。それぞれこういった道路法とか河川法というのは、公物管理法という名前がついていますけれども、道路管理者というのが定められています。例えば道路法の場合は、この法律は道路網の整備を図るために道路に関して路線の指定、認定、管理、構造、保全、費用の負担区分等に関する事項を定め、交通の発展に寄与し、公共の福祉を増進することを目的にするということで、道路というものが定義されています。河川も同じようになっています。ここに「国土の保全と開発に寄与し、公共の安全を確保し」といっている。こちらとちょっと違って2つの目的を、河川法の場合は持っています。

平尾 川は自由に使えないってことですか。

松田 川は治山治水といって、水を排水するのが一番の目的で、水位が少ないとか、安全なときにはレジャー空間として使っていいよとか、高水敷という、めったに水がこないところはゴルフ場で使っていいよとか、水が多いときと少ないときで使われ方が違ってきているんです。商店街のアーケードも実はこの道路法でやっているんですけども、ややこしいのは道路交通法という法律があって、管理する法律ではなくて、車両を制限する、車両を合理的に動かすための道路

交通法という。

平尾 警察の人が道交法とかおっしゃいますね。

松田 そうですね。一般的に道路法は国、県、市が管理していますが、道路交通法は警察が管理しています。先ほど公開空地で建築基準法上の空地の利用ということで、建築行政上の制約があったり、軌道系の駅前広場で広場の利用ということで、主として交通が優先するという原則があります。

公共空間の活用を今、皆さんに公共空間の利活用を考えてくださいというのは、実は背景があったんですね。ここで思いつくまに整理してみました。人口の増加を前提とした道路などの整備計画があって、実は今、人口が減っていく時代に入ったんですね。増えると思ってたくさん幅の広い道路をつくるとか、こっちにも道路があり、こっちにも道路があるってつくっちゃったんですけども、蓋を開けてみると、北海道はクマのために道路をつくったのかとかといわれるような道路もありますし、お隣の山口県では農業用の道路、農道というんですけども、これが発達してしまっていて、通常の交通処理の道路と同じように使われていたりする。もう一つは、公共施設整備の進展、どんどん国が豊かになって、道路をあちこちに整備してきたんですけども、車両の量が多いと思って6車線にするとか、それから大渋滞のピークを回避するために車線数を増やす。幅の広い道路をつくる。リスクを回避するために安全側の仕様でつくっちゃうんですね。ところが、車が減っていくとか、別の軌道系の交通機関が整備されると交通量が減ってしまうようなことがあります。こういう前提でどんどんつくってきた道路や公園、それから河川の場合は、ここの安全側の仕様ということで、広い河川を整備したりするんですけども、今、地球温暖化の影響で、その広い河川が役立っていますね。

平尾 そうですね、災害の時にはちゃんと水を流してくれます。

松田 人口が減少、例えば学校が要らなくなる、統廃合。それから人口が東京に移動していくという東京一極集中、地方の道路や公園が使われなくなる場合もありますし、郊外化といって、都市から郊外の大型スーパーマーケットとか住宅があるところに逃げて行って、人口が移動して東京空間が一部、せっきく整備したのに使われなくなるということもあります。ちょっと複雑な問題をいうと、市町村合併で都市機能の配置空間が、役場が1個になってしまって、たくさんの役所があったのが使われなくなってしまうということもあります。高齢化の進展に伴う外出機会の減少。特に住宅団地の男性問題っていうのが、家から出ないお年寄りが何々団地にたくさんいらっしゃるっていう。

平尾 住宅団地の男性は問題ですね。

松田 女性は外に出歩くんですけども、男性の方は家にいちゃうんですよ。

平尾 なんかイメージができますね。

松田 運転免許を持っている方もこちらが多いので、車もほとんど乗らない、道路も使われない。それからネット販売、宅配の進出に伴う外出来店者の減少。アマゾンとか楽天とかそういうものでものを売って、外に出かけていけない、商店街に人が少ないということもあります。それから公共空間を活用されている諸外国の事例をよく見てこられて、なぜパリではできるのに日本ではできないのっていうことを疑問に思うことも背景にあるんですね。それから国民の価値観の多様化。複数目的、同時テーブル、タイムシェア、商店街はこれでタイムシェアですね。自

動車は朝と夜しか入れなくて、昼間は歩行者のために使うんですけども。複数目的、同時テーブルも、公園なんだけども、レストランのカフェテラスもあるし、それからいこいの広場もあるし、スポーツもやっているとか、複数目的にどんどん実は今、都市公園法も改正されて、保育所をつくったりしてるんですね。

平尾 商店街にですか。

松田 ごめんなさい。公園のなかに保育所をつくることができるようになったんです。

平尾 公園のなかにカフェができたりもしていますよね。スターバックスとか、稼ぐ公園と言われるようになりましたよね。

松田 公共空間の利用ってどんないいことがあるかなというのはあるんですけども、今日の大きなテーマになっていますけども、にぎわいの創出ということで、公共空間がうまく使われるということがあります。実はパリが有名なんですけども、それは例外で、おおむね20年から40年程度しか歴史がないんです、道路を使ってカフェテラスにするっていうようなことは。

平尾 公共空間の利用、道路を使ってというのはけっこう浅い歴史？

松田 そうなんです。都市の公物の利用の歴史なので、都市として、ヨーロッパとか中国の一部の都市は長く都市としての歴史はあるんですけども、自動車を都市から追い出して、そのあとをうまく使おうっていう流れになったのは最近ですね。パリのカフェが長いのは、実は歩道に限りカフェを許したので、自動車とカフェテラスは、パリは共存してるんですよ。ところがミュンヘンとかほかの都市にいくと、車を締め出してしまって、都心部に車を入れなくして、広場や道路でカフェをやるようなことをやっている。オープンカフェを例に取りますと、効果の一番はにぎわいの創出、道路空間で人が滞留する。それから歩き疲れたときに休めるということで回遊性の向上。遠くまで買い物、直線的に遠くに行くというより回るっていう意味で回遊性という。それから都市景観の向上。これはちょっとわかりにくいと思うんですけども、カフェテラスの場合は華やかなテント上の屋根をつくる。それからおしゃれなベンチやテーブルを用意する。それから外に給仕する店員さんがとても黒いエプロンがシックで格好いいと。そういうふうな都市計画の向上の効果。さらにいうと、例えば道路の管理者である広島市に使用料というので、歳入になってくるんですね。これまで収益を生み出さなかった道路という土地から占用料という料金をもらうことができるというようなことで歳入にもなる。

平尾 大きいですね。道路に限らず公共財は劣化していくので、その補修には絶対お金がかかるので、そこ自体が稼いでくれれば、そこに回すこともできるということですね。

松田 道路も公園も河川空間も河岸緑地も占用料というお金をいただくことができるので、それを行政が使って、主にメンテナンスに使う費用を捻出するというようなことが言われています。これが、道路内でオープンカフェがなぜこれまで日本ではできなかったのかっていうところを専門的に書いたものなんです、これはちょっと非常に難しいんですけども、大きくここに許認可っていう概念がありまして、道路の場合は専門用語で占用許可、道路使用許可とか、こちらが道路法、こちらが使用が道路交通法で、こちらが警察ですね。同じように公園も都市公園法があって、市の公園なんですけども、国の公園もあったり、県の公園もあったりするんですけども、公園、河川法、それから公開空地の場合は、東京都の場合は東京都、広島市の場合は広島市長が許可をすることになります。

平尾 とにかく素人から見ると、どの法律がどれを占めているかよくわかりませんが、とにかく使うときは非常にハードルが高いってことは言えそうですね。

松田 そうなんです。これを乗り越えて、例えばカフェテラスをやったり、ギャラリーをやったり、それから大道芸をやったりするわけですね。特に道路が一番、先ほど道路だけが2つ法律があったってやりましたけども、道路の場合、ここに一つ、道路管理者、例えば広島市が道路管理者の場合、広島市道は広島市が管理者なんですけども、オープンカフェのような道路上の常設店については、道路法に該当する記述がない、許可なのか、規律などを決めていない。だけど、最近は、行政がにぎわいのために、オープンカフェをやってくださいと民間にお願いする場合がありますので、こちらはなんとか決めていないけど、許可をするということが出つつあります。問題はこちら側ですね。警察は原則として交通阻害要因となるものに道路使用許可を出さない。道路交通が円滑に、車も歩行者もそうなんですけど、荷車も自転車もそうなんですけど、その道路交通を邪魔するものは認めないよというのが警察の基本的なスタンスなんです。ここに道路交通法の趣旨に背く行動を取るということになり理屈がないということで、交通を妨害する恐れがあるか、公益上または社会の関心上やむを得ない部分については、原則許可となっている。これはなんのことかという、マラソン大会とか、お祭りの屋台、いっときだけ交通を止めて、カープの優勝パレードをやったり、そういう交通を邪魔するんだけど、社会の慣習上やむを得ないのは認めるよって出てきたんですけど、問題は常設でそれを認めるのか。

平尾 でも、社会の慣習上やむを得ないかどうかの判断は非常に主観的なところはありますよね。警察署長において、県が違うと違いう部分もあると思うんですよね。

松田 先ほど、高知の朝市の話をしましたけども、道路交通法ができる前から高知の朝市があったわけですね。岐阜もそうですし、石川もそうですし、九州にもありますけども、そういうものは既得権として認められていて許可を出し続けて、若干、条件をつけて、何時には片づけてくださいとか、何時に、何メートルまでしか出しちゃ駄目とか条件はあるんですけども、既得権があるものは認められている例があります。これは道路だけじゃなくて公園でもそうですね。私が勤めている江波山気象館の隣にシェ・ヤマライというレストランがあるんですけども、100年の歴史があるレストランで、都市公園法ができる前からあそこでレストラン営業をしていました。戻りますけども、社会の慣習上やむを得ないとか、公益上とかって話があるんですけども、これをどういうふうに許可をするのかってというのが警察に任せられたんですね。現在では国土交通省と警察庁が若干、後押しをしてくれたおかげで、このハードル2という道路交通法の道路使用許可も少し緩くなってきています。特にハードル2に限ってお話をしますと、道路交通阻害要因になるものに許可を出さない。十分な幅員を持つ緑地用の歩道は許可が下りやすい。それから、カフェをおこなう実行組織が交通を阻害しない配慮をおこなうと警察に約束するということで臨時的に許可をいただく場合、これは社会実験、県警は社会実験ということで許可を出す、これは広島市の平和大通りのときに、私、実は平和大通りのカフェテラスの実施体のメンバーだったんですけども、5メートル置きに職員を立てて、車が止まったらここは駐車禁止です、移動してくださいっていうふうに車を動かす。

平尾 えらい高つく感じですね。

松田 5メートル置きずつに一人ずつ立たされて。

平尾 人を配置。

松田 平和大通りの社会実験は2回に分けておこなわれていまして、それぞれ規模も、これが当時の写真ですけども、

平尾 20年前ですね、1998年。

松田 そうです、こちらが1998年から1999年、来店者数1万9470人。

平尾 これは、場所はどこだったんですか。

松田 これは現在の全日空 ANA グランドホテルの前、三井ガーデンホテルの場合、ああいうあたりになりますね。NHKの前もやろうとしたんですけども、ちょっとできなかったことがあります。このころは社会実験ということで、この平和大通りの緑地を使ったものだったんですね。アンケート調査の結果、どんどんやってくれということだったんですが、市民の方々は。これが当時の私の上司でヤマモト課長さん、現時、定年退職して、局長までやっていた方です。

平尾 けっこう時代を感じる髪型と服装ですね。

松田 時代を感じる髪型。

平尾 こんなことをしたら、近隣のカフェから文句は出なかったですか。

松田 出ました。実は平和大通りの両側には喫茶店がかなりありまして、そこから営業妨害だって、訴えるよっていう話は。

平尾 別の理由で、そういうこともあるんですね。

松田 これはちょっと飛ばしますけども、今まで手続きをとって社会実験をおこなったということを書いております。ここがポイントですね。先ほど警察のお話しをしました道路使用許可制度の概要。この許可基準を満たせば警察は許可をする。道路を使っていいよという。現に交通の障害になる恐れがある場合、公益性又は社会慣習上の認められているということで、それと交通の要件と比較検討して、こちらが重ければ許可を出しますよという、こういう警察庁にしてみれば、図解入りで、逆に公益上の社会慣習上の必要性ってというのは、ちゃんと訴えてきてくださいというふうに記載があります。

松田 それから河川のほうも社会実験を広島市でおこないました。実は河川のほうは行政がおこなった社会実験と建築士会と地元でチームを組んでおこなった京橋川のカフェテラス、2つの行事を同時に進行して、そのあと現在に至っているということがあります。ちょっと見てもらいたいの、ここに八角形のカフェテラスがありますけども、河川の上には穴を掘って基礎を入れた建物がつくれないということで、ものを置くだけならいいよということで、置くとカフェになる。置くとカフェになるものをつくって、クレーンで置いていくんです。

平尾 オクトって数字的でいうとなんですか。

松田 8ですね。

平尾 8、それと置くってものをかけているんですね？

松田 はい。八角形のを置くことによってカフェになるものを置いて実験をしました。

平尾 何年ごろですか。

松田 これは先ほどの平和大通りの社会実験とほぼ同じころ。

平尾 20年ぐらい。

松田 現在はカフェポンテっていうのが、ほとんどになっていますけども、これは都市再生プロジェ

クトとして社会実験が認められて規制緩和がされ、現在は恒常的にこれがレストラン営業に。
平尾 いきなりこれができるわけじゃなくて、ああいう社会実験があったからこそ、今、僕らはあそこのカフェを利用できているんですね。

松田 そうなんです。これがオクトカフェの状態だったという。こちらが特例措置後ということで、平成20年から平成24年にどんどん増えて、平成26年とか、こんなに利用者が増えてということに。ちょっと駆け足で進めさせてもらいます。今のは元安川だったですけども、京橋川、元のJALシティホテルが、現在は経営が変わっていますが、そこに公開空地があって、さらに河川法がかかっている河川区域と、都市公園がかかっている河岸緑地というところがあったんです。この河川法、都市公園、公開空地をまたがってオープンカフェをつくった。これは町内会と建築士会の特別な実験事業でおこなったんですけども、これも成功を収めて、その後の水の都の特定許可につながっているという実験でした。このJALシティホテルさん、もう1つ吉川フレックスホテルさん、そのあと、RCC文化センターの3つでやったんです。そのあとは独立型のカフェを行政で構えました。現在はオープン化ということで進んでいまして、地域の合意をもって河川管理者がオープン化区域を決定すると、営業許可が河川のなかで下りるようになりました。今まではなんとか協議会の法的な主体でないと駄目だったのが、河川法の制度が少し改正されまして、ここに飲食店、オープンカフェ、こういったものが10年単位でできるようになりました。これがその模式図と活用の事例の件数が増えている状態です。

平尾 それは全国ですか、広島ですか。

松田 こちらは広島の例が、国のホームページで紹介されています。

平尾 広島では増えているんですか。

松田 広島は大阪と並んで、どちらが一番かということで。

平尾 そんなに河川の利用は、広島はけっこう。

松田 自称水の都、アンケートを取ると、全国では水の都は広島と出ていたんです。地域行政としては大阪市と競い合って、当時やっていました。これが、先ほどご紹介した呉の蔵本通りの写真です。ここに白い線があって、こちらが屋台をやっていいところ、ぎりぎりまでベンチが出るぎりぎりまで屋台が出ています。こちらが道路で、こちらが現在、公園なんですけども、以前、ここは道路だったんです。この白い線のこちらも道路だったんですけど、呉市さんが、こちら側を道路から公園に変更して警察の許可を不要にして屋台を常設されるように。さらに呉市さんはキャンプ場のような水道とか下水とか電気がとれるように、こういうブースがこちらに用意されていて、屋台が専用的に使っていいというところまで。

平尾 屋台を推奨しているということですね、まちとして。いいですね。

松田 それから、ここで屋台が成功すると、普通のお店を持って出てこられる。広島市内にも2軒、呉の屋台があります。

平尾 屋台が進化して広島市内に店を出した。

松田 そういう意味では商売の腕試しステージになっているところもあります。

平尾 面白いですね。

松田 こちらは、とうかさやえべっさんで、中央通りが歩行者天国になってという事例です。今日は若狭さんが来られていますから、浴衣まつりとか、いろんな事業を展開されて。

松田 それからこれは新しい試みで、袋町の裏通りを裏袋と呼んで、そこに新しい道路を活用したにぎわい空間をつくろうと、こちらが本通り商店街、アーケードがあります。こちらが一番目の裏通り、こちらは2番目の裏通り、それからこれは袋町公園。袋町公園はかなり都市型の公園としていろんな行事がおこなわれています。こういったところを、自動車を土日は出ていってもらって、人がゆっくり歩ける空間にしたいという構想を都心ビジョンをつくるときに、広島市商工会議所でつくりまして、それを地元を持って帰って、珍しく新たに商店街組合をつくりまして、うらぶくろ商店街という。広島市では商店街組合が地域にできるのは珍しいのですが、それをつくって、社会実験もやるということで、うらぶくろ商店街が社会実験をやられて、歩行者が2〜3割増えたというデータを受けています。

平尾 車を止めてみるという社会実験？

松田 そうですね。

平尾 4年前にやったんですね。

松田 社会実験の成果も出してはいます、今後こういうふうな、アスファルトにするのか、石畳にするのかとか、ポットを置くのか、置かないのかとか、緊急車両の通行の問題だとか、そういうことを詰めていったりされています。併せていうと、民地の利用、この道路沿いの民地のビルを建て替えて、道路から建物のなかにフランクで入れるようなそういったことも、一つここにビルができていますけども、そういったことも。

松田 先ほどちょっと道路だけのお話をしましたけども、祭り、イベントで使う、市として使う、屋台として使う、パフォーマンスやギャラリーという見せ方もあります。それからレストランで使う場合もあるし遊覧で使う場合もありますね。一形式としても地先型は、お店があって歩道側にお店を出すパターンがあるんですけども、独立型といって、お店に関係なく公開空地のなかにお店を使われた場合があります。移動型というのはリアカーで引いていくとか、船で移動するっていう場合もあります。こういうタイプ。全国に少し事例があるんですけど、近くのものでいきますと、それは鳥取市の事例ですね。それから高知の日曜市。

平尾 土佐、これは道路ですか。

松田 はい、道路です。川では大阪の道頓堀などで広島市と競い合って、これは広島の事例です。これは大阪の事例です。最後に公共空間の目的ということを議論してご検討いただければと思います。まちの将来像とか、目標があるとか、対象者が誰なのか、観光客なのか、地元の方なのか。民地のなかではできないのか、それから道路とか河川とか、そもそも目的を果たしているのか、路上空間なのか。ここに書いてある1から6の、この6ってちょっとややこしいんですけども、さっき呉市の屋台で成功すると広島に出てこれるとか、そういうシステムで、そうなっているというような場合。公園のなかのカフェテラスに成功すると、空いている空き家を使ってやってみないか。

平尾 チャレンジショップみたいなものですね。

松田 そういふのを準備している自治体もすでに出てきています。ちょっと駆け足になりましたけども、公共空間、こうやれば楽しいなっていうところからスタートしていいんですけども、まちづくりにどのように貢献するのか、あるいは関わっている人が楽しめるのか、そういったことも併せて考えていただきたいですね。

平尾 ありがとうございます。おそらく後半、ここから松田さんの話を踏まえて、公園、公園といっても千田公園について話してみようとか、市民球場跡地について考えてみようとか、いろいろな事例が出てくると思いますが、最終的には、そもそもなんでその場所を活用するのかというルーツも非常に大事だなと思います。皆さん、今日、学生さんも多いけど、ママさんと子どもたちもまちなかで遊べる休憩場所があるんじゃないかとか、公園が小さなお子さまにも快適な場所になるためには、どうすればいいかとか、そういう皆さん自身の立場を踏まえて、議論をしていただきたいと、一緒に考えてみたいなと思います。

【第2部 ワールドカフェ 各班の議論結果】

A班（道路）

さつきヶ丘

バイク、自転車専用の道路

|

歩道、巾が広い道路優先

自動車、自転車道、歩道 分離型が理想

※安全

|

チョークで自由に絵が描けるようにする

人口減少→車両減

今ある車線を歩行者空間に

自由に壁に絵を書くことのできる空間

地下空間の利用

駐輪場など

歩道を広く使いたい

歩行者、自転車の共存

トイレの整備

多くの人利用しやすいようにスロープ、手すりなどの設置

安全確保のため劣化箇所の修繕

車道、歩道共に自転車走りづらいからそういったスペースを。

生活用品の買える空間。

若者が集まる空間→夜、光→露店

緑を増やす

歩行者が歩きやすいような整備

バリアフリー

サイドに花を置いていく（平和大通り）←朝市 場所、回数ふやす

観光客を呼ぶためにモザイクアートなど作る

散歩のモデルコースを作ってほしい

西国街道 草津とか海田とか歴史街道をもっと活用
→まちおこし 観光、学習、カフェ・ショップ等

道路幅

車・安全性

子供と一緒に車を観察できる安全なスペース。
図鑑とかパンフとかを置いて調べたりもできると◎

歩行天いいな（平和大通り等）

孫つれて来て神楽でも楽しみたい

遠くから来るので駐車場の確保に困る

開放区と自由空間の区別をする

問題点→道路結節点の人の流れの処理。例えば立体化とか？

カーブ優勝パレードは郊外でやってみては！

道路の街路樹

イルミネーション（クリスマスツリー的な）

新しい道路を空撮

道路の交通空間の利用意識しか無い考えを改める

歩行者用のベンチ、休ケイ場所が点在

悪い所

歩車分離がきちんとできていないので危険を感じる。

希望

車道を解放して集客性のあるイベント。歩行者の安心安全

B班（河川）

- 橋も利用した誰もが楽しめる空間
- お花見イベント
- 自転車練習所
- 潮ひがり
- 潮だまり（小魚さがし）
- サイクリングロード
- マップ作成

- 絵本のよみ会
 - 子どもと日本語を勉強しはじめる外国人向け
 - 日本語きょうしつときょうりょく
- オープンカフェ（外国の方向け）
船の階段
- イルミネーションイベント
- 昔ながらの川の風景
- 防災教育など体験できるような公園
- 釣り（レジャーとして）
- ジェットスキー
どこかやっているの？

- 河川敷の樹木の多様化
春の桜の他に四季を感じるような。
子供も読めるようなプレートをつくる。

- ジェットスキーやサーフィンを使ったイベントの開催

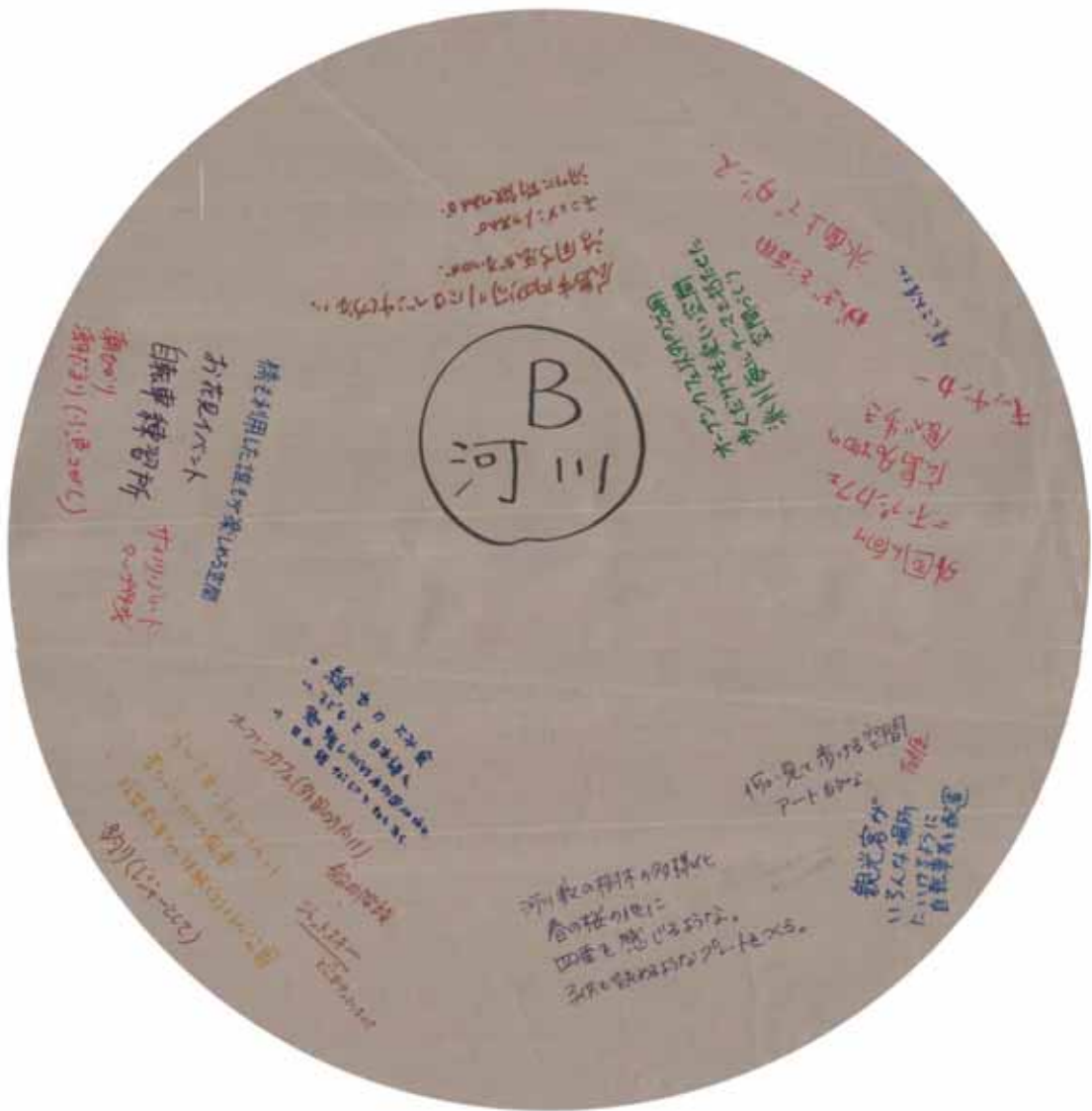
- 何か見て歩ける空間 アート的な 健康
- 観光客がいろんな場所にいけるように自転車等を配置

- 外国人向け
オープンカフェ
広島名物の食べ歩き
- キッチンカー

- オープンカフェ以外の活用
歩くだけでも楽しい空間

派川毎にテーマを持たせた空間づくり

- がんぎを活用
水面上でダンスショー
- 貸しお屋さん
- 広島市内の河川にはベンチしかない
活用方法がないのか。
モニュメントがあれば
河川に特徴があれば



C班（公園）

くらしの中にとけこむスペースに

公園のリンク 宮島と平和公園

岡山西川緑道公園

公園の多様なあり方

スポーツ、自然、近の人、遠くの人

開放感！インスタ映え

近くに住んでいる人同士ですぐできるならフル活用する！

借りるときにお金が発生→収益に

公園でキャンプ

- 道具がそろっているとより利用率が上がる（場所はある）
- 子ども会のイベント

〇〇用セットがあるといい。道具がないことで断念。保管場所もあるといい。

公園×（かける）〇〇

公園ーカフェ

カフェで買ったものを公園で。

カフェだと居づらいこともある。←レジャーシート貸出

タイムスケジュール決めに行政が介入すると規制がかかる。自分たちでやんわりきめた方が自由。公園って自由なスペース…？

ペット飼えないけど関わりたい子がさわられるような時間にしたり、子どもで賑わっている公園（苦手な人はその時間をさけてもらって…）

「人がいる」っていうのがいい

人と人をつなぐ⇒地域の良さを

週1でお祭りより小規模な地元民で再確認

ふわっとしたイベント（みんなでごはんとか）

季節感

イルミネーション

室内→屋外

施設に情報案内を携帯を活用して発信利用できる様にしたら

公園と公園のリンク

平和公園～宮島船とまちとの連けい

水辺

若い人でも来てくれる

夜でも楽しめる

外でやるだけでもちがう

歩行者が注目（気候にもよる）

イベント情報知ってるが

ベンチがほしい

公園キャンプ

Trunk

季節感のあるイベント

音楽や光による集客

週一のサッカーが20年広島市で続いている。

自然とふれあう場

公園にはいろんな利用方法がある

- ・スポーツ、散歩、イベント、鳥見

→季節や時間でケースバーケースで対応できる公園がよい！

自然にふれ合うことのできる公園

集知イベント

農場

レジャーシート貸出し

レンタル料金で維持費を

県庁中庭に休けいスペースを！

桜きれい、紅葉きれい

外国人も多く通る場所である。



D班（商店街）

学生による活用

マレーシア（では）時間帯により（、多くの露店が出る）休憩スペース（空きスペース利用）

利益の共有

オープンストリート

空き地の有効活用

地域に愛される空間

地元の服屋の商品を用いてファッションショー

複数のお店を経営

理想→イオンモール（西風新都）

清潔感、透明感

シャッター→障子

レンガ→木材

シティリペア（街改修）

商店街の方々と協力して、子ども達が職場体験できるようなイベント

Story Street

あきシャッターのところ（空き店舗）で（その地域の）むかしばなしの絵本をつくってまちの歴史や伝説を（伝えていく。これにより）観光客のスポットになる

（地元）

子どもたちやママたちのつながりもできるのでは…？—————シティリペアの絵

（それ以外の地域）

他の地域へのアプローチ！！—————観光客（（シティリペアの絵）写真をとってup）→集客のきっかけになるかも…

おもてなしの商店街

店の人とのコミュニケーション

空店舗の利活用→異業種交流

観光客メインの店

いろいろなお店の食材をのっけるーマイ丼

ちょっと使うで良い

ガールズコレクション

商店街の良い点について

- 天気に左右されにくい
- 電気が使える
- 人がいる



商店街の公共空間の長所

発起人は商店街の人に限られる？



E班（道路）

アートとか
歩く人の休む場欲しい。
どういう使い方ができたらいいかな

SAとかみたいな道路の休けい所

木が…虫が…

道路といえば平和大通り
・子どもスペース拡大
・スポーツ施設の確保

スタンプラリーとかして割引きに
PARCO割引

スゴロクにして、寄らせる作戦

広電の線路活用（道路だから）

ストリートミュージシャン特区

許可を申請しやすく。

スケートボード文化を

自転車貸出し パスपीーにして

スクーターとか（アメリカ）

自転車どこ走ればいいのか問題

博多ちゅうりん場多い
ドイツ整備されている

宮島
店がいっぱい

車を通すか通さないかの違い

人力車

ドリミネーションでおしゃれなワイン
イルミとワイン 若い世代

お母さん ベビーカーの広さ確保して

カドをなくす アーチ状に

防災施設と同時に考える

歩道の整備

有効活用を考えた設計が必要！！

ナイトマーケット

- ・だれでもおみせだせます。
- ・はば広いの商品もならべる。
- ・マレーシアの事例を紹介

福山

駅周辺の商店街や居酒屋で夜店を開催



F班（河川）

オシャレな街灯とか
河川のまわりでイルミネーション←常設の明りは防災上のケネンも…
年中楽しめる空間を
春は桜
シート貸出制とか
テーブルも
紙コップもスグ買いたい！
デポジット制
浮かぶオクトカフェって面白いかも
少し動けるもの 足コギボートとか

外人さんとの交流の場にもなりそう？
ヒロシマらしさを活かして！

広島市民向けのものもあっていいのでは？
しじみ・あさり潮干がり体験

竹棒での渡し舟ってどう
※安全装備要

水鉄砲
水切り

景観が良い→視覚的に良いもの
自転車は難しい

申請大変…
便利なシステムが必要！！←皆が意見を出せる

きぞんのお店とおしゃれなお店 どうバランスをとる？
子連れのお母さん行きやすい！
音楽聞ける（場所）

宮島→原爆ドーム
観光

歴史的背景を考えると遊ぶのはどうか…

自転車利用→事故の危険性→自転車専用の道
専用道路→子どもが歩いていると危ない…？
自転車でそもそもは入りづらい

川の利用 世界遺産航路

アソビ×ソウジ

河川は子どもに危険な場合が多い気がして、行きづらかった。
だから子どもが安全であるアピールがあれば、足を運びやすいかも。

アソビゾーン

球体のやつとか

水でっぼう

釣りや潮干狩りイベント さばける人がいればいいナ

自転車発電できる施設→運動できる

自転車道、歩道

しきい高い？→オープンカフェ使ったことない…なんで？
コミュニケーションとらなきゃダメ？



G班（公園）

公園に行く時間帯は？

どんな事でもやっていい？

自分達で公園を改造したい。

男達でも気楽に使うことができる？

バリアフリー（幅広い年齢層）を対象に

分煙（タバコ）

景観等の維持管理

公園にきてもらうキッカケづくり

元金なく人手少なく（負担少なく）交流（イベント）（三世代）できる場を作りたい。

お手軽キャンプをすぐ近所の公園でしてみたい。

ハンモック、ソファー のんびり出来る公園 おひるね

親が連れていきたくなる公園（子どもは雨でも遊びたい！）

ワンちゃんスペース

自然を生かした公園（体験型、宿泊型）

〈例〉カマガリ 県民の浜 自然公園

キレイなトイレ

遊具がそろった公園（ex 海田の公園）

雨の日でも遊べるスペース

子ども食堂や移動式の図書館、演奏会など（移動式のもの、車）

↑公園に行くきっかけ作り

果樹を植える。誰でも収穫してオッケー！！

→ついでにそれを使った食べ物を販売

青空教室あるいは星空教室

公園に街灯設置（暗いとケガをする可能性）

ニーズにあった対策！

ここをキャンプ地とする！！

自分たちで家を建てて宿泊（簡単につくれる物）

ex ログハウスのな…

→協同作業で一体感生まれる

→自然の中で過ごす非日常体験

野外映画

利用者が御礼にそうじ

体験型の公園

キャンプを気軽に体験する

アスレチックなど

はじめは金をかけずに販売を始める。（市は許可を）

色々失敗はするだろうが成功した事例をつみ重ねて、成功したら市に整備を要請する。（しばふとか）

H班（商店街）

人がこない
公共機関がとぼしく…
朝の顔、夜の顔

商店街の良さ
安く自分の店をもてる その気になって サポート■■■
地域に密着

大型モール
車が近い

子どもに■(旬?)やいいものを…

Sports-マットがある
Book-無料 →売る
Dessert
持ち込み自由空間
ミニ観光
朝ごはん

TakeOutして交流できる場があれば！！

はしご

制度あいているスペースを貸し出す（借りやすく）
新しい人が入って来やすくする

最近の商店街さびしいなあー田舎は車じゃないと移動できない

フードコート
テイクアウト
交流できる

飲みやを拡張！？
イベント

広島県を縮小した商店街、商店街で迷とき
買い物×運動

商店街ならではの個人てん

季節

コスプレ（衣服関係）

開けるアーケードなら開けたらいいよね。

はしご酒（ケーキとか）系イベントを

（飲み、食べ以外に拡張できたら。）

■テイクアウトしたものを食べられる拠点

ARを活用した商店街イベント

（ポケモンGO！、謎解き）

（翻訳機能）

○屋の角打ち。（西広島では肉屋が。）

商店街エヴァンジェリスト

尾道、横川

モリ上がってきた！

入る者ー入れる者 同じ目線で

安く貸せる制度 値段が下がる…

|

w e l c o mシステム化しよう

市立大学、基町アパート 地域の憩いの場←遠くても楽しかったらやってくる！

トランクマーケット

東京のおためし店舗⇄おためし移住：マッチングができる！！

観光客に向けての i n f o r m a t i o n センター欲しい！！

夢プラザを拠点に

昼夜で変化する商店街

昼はにぎやか、夜は落ちついた

季節毎にイベント

【第2部ワールドカフェ 各班まとめ 「〇〇で■■したい!」】

A班

- 平和大通りでドローンをとばしたい
- 太田川水系を利用した水上バス整備（宮島も含めた）
- 歩行者専用橋上で孫と釣りをしてみたい!
- 河川の利活用（水上スポーツ大会、潮干狩り等）
- 道路上でお昼寝したい! コタツ

B班

- 派川ごとにテーマをもった河川空間づくり
- 複数の公園のコンビネーション
- 雨天ゆえに、風情が出る公園づくり
- 西国街道を歩行者天国にしたい!
- 青空マーケットをいろんな所で!
- 自転車の活用を増し、安全に遊べる場所
- 雨の日でも外で遊びたい!
- 市民球場跡地でキャンプをする
- 商店街で季節イベントをする

C班

- 公園の壁で落書きをしたい。
- 路面電車で町の物語（ストーリー）を見たい
- 公園or商店街でe-sportsしたい！！
- 川べりでピクニックできる仕組みづくり
- 商店街のなかではしご酒、もしくはパーティー（飲み会）できちゃう
- 千田公園でNight Marketしたい！！
（大きいテントとイス×キラキラ×ごはん）
- イルミネーション（平和大通り）で、露店をだしたい。（ホットワイン、ビーフシチューなど）

D班

- 己斐 中通り商店街で夜市をしたい！
- 職場体験
- ナイトマーケット（魚、肉、野菜、食べ物）
- のっけ飯（マイ丼）
- 屋台村発祥の地（広島） 地域をじまん
→高知の方が視察に来た
- 空き店舗を使ってパーティー セトラひろしま
→商店街のご飯を持ってくる
- 公共空間で子ども、大人が遊べる空間をつくりたい
- 商店街でのっけ飯orオープンサンド
- 広島の各スポットで他の人（観光客）が魅力をもつイベント・場所・空間をつくりたい！
- 子供が安心してすごせる空間づくり

E 班

- 生活道路でNight Marketをしたいです。学生さんも出せるお店
- 県庁中庭を公園化して、ベンチにすわってランチをしたい。
- 河川にある遊歩道で桜めぐりウォーキングをしたい。
- 市民球場跡地でスポーツ大会
- 平らな道で安全に自転車を乗りたい

F 班

- 河辺をwalkingルートにしてみたい。(護岸がさみしい)
- 近所の公園を近所の人達と改造する。
- 水辺空間で友達100人できるかな 交流イベントをしてみたい
- にぎやかな(季節や時間で変わる!!→夜 ex: ナイトマーケット)空間を歩きたい。
- もっとイベントをやりやすく→色々な意見を気軽に
- 川で思い出づくり ⇒イルミネーション、観光客と花見
カフェで食物かって オーナーもハッピー
→それをスムーズにするシステムが欲しい
- 道路、河川周辺地域で多くの人がふれあうことのできる空間!
- 河であひるボートに乗りたい

G班

- 地元の公園でゆるく物販（カフェ、フリマ）したい。
 - ゆるやかな規制
 - SNS活用で広報費削減
 - 成功したら続ける
- 空き地を集約し魅力ある公園やイベントスペースをつくりたい。
- 近所の公園でキャンプファイヤー
- 地元の町内にある普通の公園で
 - 映画鑑賞会
 - キャンプ
 - そうめん流し e t c
- 地元の町民が、三世代が顔を合わせるイベントを開催したい！ので、セットをレンタルできる様に支援してほしい！
 - 理由：人手不足（子ども会・町内会）
 - 予算不足
 - 保管場所不足
- 千田公園を芝生にしたい。

H班

- 自転車で市内を移動したい。
- 商店街でコラボマーケットしたい！！
 - 多世代交流、協力
- 商店街でもっと地域の人のおススメを知りたい！→地域情報発信館
- 公園で即キャンプしたい→道具の貸出しを収益に
- “街”と個人の“暮らし”をもっとつなげたい！！
- 道路→自転車レンタル
- 西国街道で「戦国パレード」をしたい！
- 商店街でサブカル・パレード
- 街をストーリーであふれさせたい！

【第2部ワールドカフェ 代表者発表】

・一人目

ソウダといいます。いろいろ今日、回らせていただいたなかで、いいなと思った意見があったので、それを書かせていただきました。商店街のなかでパーティーができる仕組みづくりがあったらいいなと思いました。それは各商店の、例えばお刺身とかビールとか、お肉とかを、どこかの空き店舗のところをパーティー会場にして、そこから出前が取れて、その場所で楽しめたら商店街の方の交流にもつながりますし、パーティーをし終わった方々が、このお店のお魚はこういう味だったとか、こういう方がつくられているんだと知ることができるので、持続的にお付き合いができるんじゃないかなと思って提案させていただきました。

・二人目

こんにちは。私は出身がマレーシアなので、マレーシアではナイトマーケットとかがけっこう多いんです。マレーシアでは、限られた時間帯で店を出して、誰でも店を出せるということもあるんですが、それを（日本でも）生活道路とか商店街のシャッター街のお店で、誰でも出したいと思った方、学生さんとかに、今も勉強とかで、社会に出たから、全然違うものになるじゃないですか。私は土木の専攻なんですが、構造力学を勉強して、社会に出ても使わないということ、よく言われるんじゃないかと思って、それを、実務経験としては、学生さんを、私はこれを出したいと、料理をつくって出したい、つくりたい、儲けたい、お金欲しいということを出せばいいんじゃないかなと思います。

・三人目

私たちの班でまとめたのは、もっとまちと個人の暮らしをつなげていきたいというのが結論かなと思いました。私は商店街と公園と道路の3つを回ったんですが、商店街だったら、地域の人のお薦めを知りたいというのがあって、今ごろ、みんなスマホで調べていて、その地域にせっかく行っても、地域の人としゃべらないで、地域の人しか知らないことを教えずに知った気になって回っちゃうというのがあるので、地域情報を発信する人が、もっとあればいいなと思いました。公園では、もっとせっかく周りに住宅があるから、すぐ使えるようなスペースがあったらいいなということで、例えば、キャンプをするための道具が、公園にそろっているとか、そんな感じだともっと道具を使用するときに収益を取ったりしたらまちが活性化するかなと。道路のところでは自転車のレンタルとか、増えたら行きやすいなということで、全部総括して、まちと個人の暮らしをつないでいきたいと思いました。

・四人目

今回整理したのは道路上で昼寝をしたいというものです。当然いろんな使い方ができるという意見がいろいろ出たなかで、いろんなことをやっていった究極がここじゃないかということで、路上で寝るようになるとなんでもできるんじゃないかということ、面白いなということで挙げています。当然、その時には周りでいろんなイベントをしたりとか、キャンプできたりとか、いろいろどんどんつながっていくのではないかとということで1つ答えとして挙げさせてい

いただきました。

【第2部ワールドカフェ 総括】

松田 皆さん、お疲れさまでした。楽しい時間を過ごされたのではないかと思います。少し気づきを申しあげますと、書かれましたことの半分くらいは、明日からでもすぐできそうなことがありました。誰も止めないし、手続きもいらぬということがありました。それは、ひょっとしたら警察につれていかれるのではないかとというような心配があるかもしれませんが、私が職員をしていたときの市長さんも、警察に追いかかれたと言っていましたので、誰でしょうね、そういう方もいらっしゃると思います。できそうなことがたくさんありました。ぜひ勇気をもって、やってみてください。1人でやるのが不安だったら、友達3人くらいでやってみると、周りの人は、変なことをしていると見るのか、ああ、楽しそうだから入れてよと増えていく可能性もあります。実は、空の下でカフェをやるグループが発生したのは松波龍一さんという都市計画課の方が全日空ホテルの前でカフェを始めた。お金を取ると捕まるので、募金箱を置いて勝手にお金を入れてくださいという方式で始められた。それが平和大通りの実験につながったということがあります。2点目は、今日こうして慣れないお話しをされたと思いますが、日常生活のなかで、ちょっと考えてみる。ここを出ればすぐ公園ですね。帰るまで、道がありますので、ちょっと考えてみる。そのときにメモを、あるいは携帯にキーワードを入れてみるというようなことを繰り返していくと、ひょっとしたら、将来、大金持ちになるアイデアが、そのなかから生まれるかもしれません。さて、お聞きしたなかで、4つほどご紹介いただきましたが、素晴らしいなというところを、私なりの評価を話したいと思います。空き店舗を使って商店街の得意なものを集めてパーティーをやるというのは、非常にいいアイデアで、実は広島は、屋台村方式の発祥の地です。現在は、高知県ひろめ市場に、有名な屋台村方式の市場がありますが、あの方は実は、広島に視察に来られて私がお案内しました。帰ったらやってみると言われて、大成功しています。広島屋台村はどんどんつぶれていって、向こうではやりました。ぜひ商店街の空き家、実は空き店舗や空き家をどう使うかは、公共空間を活用することとセットで考えるとうまくいくという事例も出てきていますので、これはどこかでやってみたらいい。プロがいらっしゃいますので、どこかでやってみたらいいですね。2番目のナイトマーケット、実はフリーマーケットは昼間おこなわれていて、登録制のところが多いのですが、夜のにぎわいづくりは、天下の広島の本通りでも困ってしまっていて、シャッターを閉めたあと、パフォーマンス系の人少し、やっているのと、ギターを弾いている人たちがいますが、夜のそういう新しい使い方、タイムシェアリング、もう少し何かできるんじゃないかということで、一回、JCさんがいろんな挑戦をされた時代もありますが、今は止まっていますので、夜のにぎわいづくりのために、自分が売りたいもの、自分がしたいことを、お見せすると、区画を区切ったほうが、本当はいいと思いますが、最低限のルールさえ決めればいろんなことができるかなと。これは、黙ってやると、ひょっとしたら連れていかれるかもしれないので、区役所の地域おこし推進課に相談したほうがいいかもし



れません。3点目は面白いなと思ったのは、人用の道の駅、車で行って国道でどこかで情報発信する、あるいは、その地域の特産品を情報発信するというのがありますが、人間が歩いていて、座りたいと思うときに植物があって、そこでこの地域の物語が、こんなのがあった。この地域の有名人は誰がいるとか、この地域のおいしいものは、例えばこのナスビなんだよとか、あそこのお店のなんとかというおっちゃんがつくっているこういう商品なんだとか、そういう情報を出すことも必要だと思います。今それは、各店舗に委ねられているのですが、あるいは、ネット、SNS に委ねられていますが、そういう接客をする人が、情報発信するなんとかマンみたいな、アイマンみたいな格好をして、ちゃんと地域を自慢することも必要なと思います。最後、道路で昼寝は危なそうな感じがしましたが、考えてみると、今、交通量が減ってきて、道路に付随している緑地帯があります。そこで、耳栓、ゆっくりした音楽を聞く、パットをして、ハンモックで寝ていて、時間が来たら起こしてあげるというサービスも、ひょっとしたら、昼時間に15分ほど寝ると、午後の作業が回復するそうなのですが、いろんなサービスが、道路上でも成り立つなと思いました。ぜひ皆さん、こういったものを生かして、まちを活性化していくアイデアをどんどん出し続けて、たまにはやってみるということをしていただけたらと思います。簡単ですが、以上です。

若狭 今日楽しい時間をありがとうございました。大変勉強になりました。いろんな方のご意見を聞かせていただいて、参考に本当になりました。今松田さんがいわれたアイデア、みなさんが発表いただいたものも面白いと思います。うちのグループも最後、まとめが大変良くて、参考になりました。商店街という場所は、場所ではあるんですが、人の集まりなんです。最初にうちのグループの彼女が言ったのですが、最初はとっつきにくかった。要するに閉鎖的な感じ、よそから来るとそうかもしれません。それぞれの商店が、その店でしか商売をしていませんから、なかなかほかの



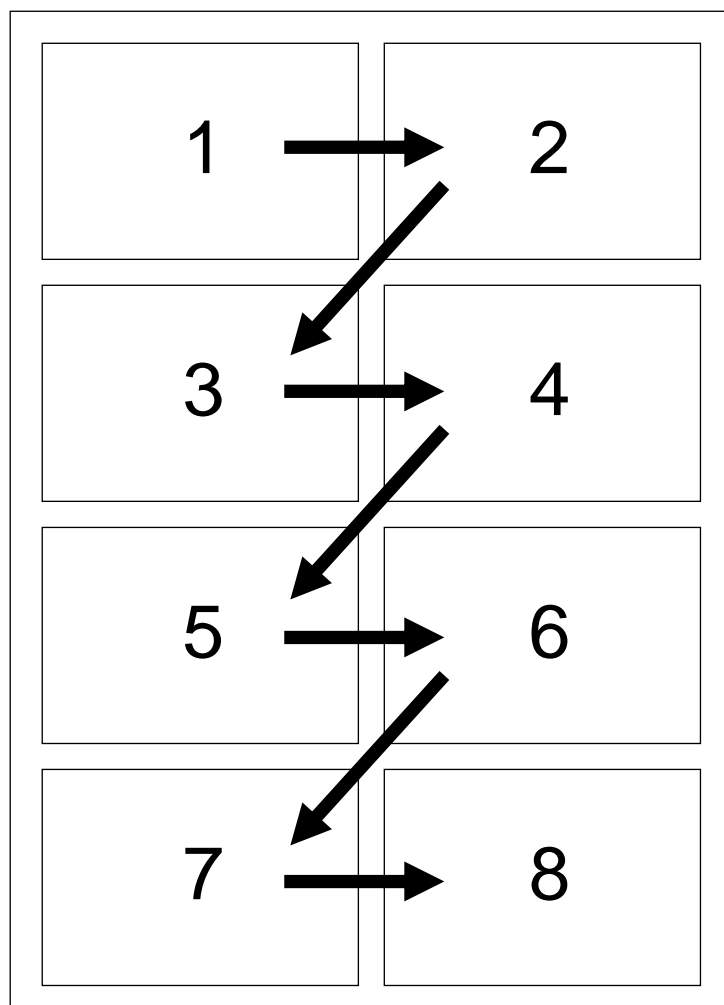
人を受け入れにくいという諸事があるかもしれません。でも開けてみると、それぞれが人間ですから、これがやりたいという意見を聞く耳は持っています。うちも商店街活動をするかたわら、NPO もやっています、その NPO でやってもらっているメンバーは、商店街とはまったく関係ない、よそから来た人たちが自分たちの特技を持って、まちなかを面白くしたい、広島を面白くしたいという活動をしています。例えばグリーンの植樹・花を植え替えたりとか、イベントのプロデュースをしたりとか、子供広場みたいなものをやったりとか、そういう活動をしてれています。そういったこともやる素材として商店街もあるので、ぜひ今日、来ていただいた方で、なにか商店街でやってみたいという方がいらっしゃったら声をかけてください。特にセトラひろしまで検索していただいたらすぐ出てきますので、私もやりたいという方がいたら、一緒にやりましょうという感じになると思います。ただし、できれば特技を持っていらっしゃる方がうれしいです。今から公共空間もどんどん、商店街も使ってもらいたいし、道路も公園も使っていきたいです。私なんかお祭りもずっとやってきていますが、最近やっと、この2年くらいで行政の考え方が変わってきました。以前は道路でお祭りをやるのは絶対ダメ、

行政が入らないと全然ダメと厳しい境遇でした。とにかく民営化、なんでも民間でやったほうがいいのではないかという考え方に変わっています。道路も使ってもらって金を儲けてもらっていい、ただしそのお金は公共に使ってくださいねという考え方に変わってきていますのでチャンスなんですね。ぜひこのチャンスを生かして一緒にさせていただければと思います。よろしくお願いたします。

2.1.4 参考資料

まちトーク 2018 に関連する資料として、話題提供および各種説明に用いられた発表資料を掲載する。

なお、各発表資料は、右下図の順に整理している。



まちトーク 2018
**公共空間での
楽しみ方・遊び方を考えよう**

14:00～14:10	開会挨拶、趣旨説明
14:10～14:50	第1部 話題提供 「公共空間の利活用って何だろう？」
14:50～15:00	第2部 ワールドカフェ導入
15:00～15:10	休憩
15:10～16:55	第2部 ワールドカフェ
16:55～17:00	閉会挨拶

開催趣旨

ワールドカフェの目的は？

本日は、
 公共空間を**“楽しく”**活用し、
 広島のみちを盛り上げるための
“作戦会議”です！

開催趣旨

ワールドカフェの目的は？

ワールドカフェで集まった幅広いアイデアをもって、我々、「建設コンサルタンツ協会 地域計画委員会」が**来年度以降、さらなる活動へ展開します！**

建設コンサルタンツ協会の今後の展開

<p>1年目 (2017) 事例収集 + 視察</p>	<p>2年目 (2018) ワールドカフェ</p>	<p>3年目～ (2019～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり団体との連携 ・アイデア集の作成 ・公共空間を活用したイベントの開催
--	--------------------------------------	---

開催趣旨

参加者の皆さんへ

参加者の皆さんには、公共空間（道路・河川・公園・商店街など）を使って**“どんなこととして遊び、楽しみたいか”**、**自由なアイデア**をいただきたいと思います。

こんな遊びを考えよう！
 賑わいのあるまちづくりをしよう！
 みんなで話し合おう！

今回参加したことで、公共空間に対して柔軟な考えをもっていただき、今後も何らかの形でまちづくりに関わってもらえると幸いです。

本日は、まちづくりに関わるいろんな人たちとの交流を楽しんでください！

【第1部 話題提供 配布資料】

まちトーク2018
「公共空間での楽しみ方・遊び方を考えよう」

「公共空間の利活用って何だろう？」

背景・目的・効果・事例

2018年12月9日(日) 14:10~14:50
CLIP HIROSHIMA 1F イベントスペース
広島市民 松田 智仁

公道における露天およびテラスの設置に関する条例

パブリック空間におけるオープンカフェの営業に関しては、この条例によって運用されている。条例は公共空間での営業を行なうオープンカフェ等、テラスや露天についてその営業許可の申請手続きや、店舗設備の設置要件などを定めている。収収は市の貴重な財源。

オープンカフェ利用に関する主な規制内容

- 1) 一般規定
歩道空間において商業的利用の可能な範囲は、原則有効幅員の1/3まで
この有効幅員は、地下進入のロビーバス、後部横断移動が不可能な施設を歩道幅員より差し引いて算定される。ただし、商業的利用以外に1、6m以上の歩道スペースが確保されなければならない。
- 2) 個別規定
・オープンテラス及び露い込みテラスの設置は、建前一部部分でレストラン、カフェ、居酒屋、アイスクリーム屋を営業している者に許可される。
・オープンテラス、露い込みテラス共にテラス幅が、6m未満では営業を許可されない。よって2、2m以上の幅員がある道路のみ設置可能である。
・露い込みテラスについては、歩道の工事等の際に一度撤去することが求められるため、パールの構造や道路への設置方法について詳細な規定がある。
- 3) オープンカフェ利用に関する主な規制内容【特例措置】
シャンゼリゼ通り等特定の特別規制地区を除く。特別規制地区では、テラスの設置に特別が認められているほか、露い込みの設置としてそこで使用する家具、什物の制限、またキャンピーテラスやパラソルの色が指定色・白・黄とされている。

自動車の急増が世界的に問題となりはじめた1960年代から1970年代にかけて、欧米をはじめとして世界各地で市内の中心道路を歩行者専用道路（カー・フリー・ゾーン）とする政策が実施された。初めて実施されたのは、1970年のニューヨークの五番街の一部。毎週土曜日に閉鎖の道路を歩行者に開放することをジョン・リンゼイ市長が提案したことからとされる。

日本初の歩行者天国がどれであるかは諸説あるものの、「歩行者天国」という名称が一般的になる前から、賣場を中心とする歩行者天国が実施されており、1950年には新宿駅東口前通りで自動車専用道路が閉鎖された。1958年には神田の東船場通りで日曜・祝日に道路を歩行者専用道路として開放した「遊歩道」というものが設けられたこともある。
大規模なものとしては1969年8月6日から12日間、北海道旭川市平和通りで実験的に実施されたのが始まりである。東京都内では、美濃部善吉知事（当時）の提議で、1970年8月2日に銀座、新橋、池袋、浅草で初めて実施された。その後、1972年6月1日には、日本初の恒久的な歩行者天国として旭川市平和通り公園が開設された。

2000年代に入ると、地域によっては地元から歩行者天国を中止する要望が出されるようにもなり、日時を指定して行うものについては廃止されたり当初より規模を縮小されることが多くなった。歩行者天国で通行止めになった道路は2008年度まで541本で、10年前（1998年）のほぼ半分に減っていることとされている。一方で自治体の活性化を期待して新たに実施される例も見られる。秋葉原の歩行者天国は、2008年に起きた通り閉鎖事件を契機に休止していたが、2011年1月23日に再開された。

出典 フリー百科事典ウィキペディア、一部編集

広島のかつての屋台はなくなった

「みっちゃん雑草店」

昭和25年(1950年)「美芝屋」の名前で、中央通りにお好み焼屋(屋台)を創業。後に東新天地公共広場(広島市中区新天地)に移転。現在は八丁通。



1932.10 武川勤蔵前の屋台
(写真 中国新聞投稿 2009年4月13日 9分 掲載)

「ななしや」東区雑草となり

50年前(1970年)頃、屋台から始めて、ここまで大きくなった。写真は現在。
当時、テーブルは仮設地であったが、その後、軒先を借りていた場所に隣地、水六橋が屋台時代から、屋号の無い1層台だと云う事であったのが「ななしや」のことか。



出典 3店舗史情報は、各店ホームページ等から引用後、編集

どうしてパリでは道路にも店があるのか？

日本でもお祭りの日には道路に看板が並びが・・・

シャンゼリゼ大通りを歩いてみると

お買い物きたは思えないシャンゼリゼ大通り。でもお買い物 だけだとちょっと疲れますよね。お茶にしたい カフェ・・・道路にも店がある。



店名 ランダス L'Alcazar パリ市シャンゼリゼ(8区) 写真出所 パリナビ

わが国では・・・「アーケード、歩行者天国」

歩行者天国とは、都市・街の歩行者空間の一種を指す。

日本では道路に歩行者専用道路の規制を行い、車道部分を歩行者専用道路として歩行者が歩けるようにする警察署による措置を指す。曜日・時間帯を指定して実施されるもののほか、通常全日実施されるものもある。

歩行者空間

都市・街の歩行者空間(広場・通り)は、欧州の多くの都市で様々な規模で特に発達が見られる。公共交通等の限定された道路交通と共存する歩行者空間もしくは歩行者専用道路(semi-pedestrian zone)。コペンハーゲン市のストロイエは特に大規模とされる。長さではカワナス市(リトアニア)のライスヴェス・アレー通りはヨーロッパ最長とされる。

南米ではクリチア市市の11月15日通りなどが見られる。
北米では都市中心の繁華街が歩行者空間となっている事例は多くないが、マイアミビーチ市のリンカーン通り(Lincoln Road)、カルガリー市のスティーブン通り(日中は自動車通行を禁止している)などが見られる。ニューヨーク市のブロードウェイは一部区間(タイムスクウェア付近)を恒久的に歩行者空間とする計画がある。また北米では車道を自家用車通行禁止して歩行者専用空間が設けられる。

オセアニアでは、シドニー市のマーチン広場(Martin Place)などがある。
アジアでは、ハルビン市の中央大街の中心通りがアジア最大の石畳の歩行者空間となっている。日本では自動車通行制限したアーケード商店街や、歩行者天国と呼ばれる繁華街の歩行者空間が見られる。



平成9年5月、広島工科大学跡地の千田公園で、広島市、地元住民、市民、行政のタイアップによる祭りを開催。千田という文脈の町を御祭の如く扱って、若者文化の発信、地域の活性化、市民活動の活性化を目的とする。

平成10年8月から、市の協力を得て全国でも初めて毎月開催のイベントに昇格。会場を広島工科大学跡地である千田公園(3ヘクタール)に移転し、2万人近い来場者でにぎわう大学祭の市民祭に発展・拡大。

ご存知ですか?
千田わっしょい祭

H13 ひろしままづくりデザイン賞(まちづくり活動部門)
H18 ひろしままづくり賞(大人賞)
H18 国土交通大臣賞

2018.11.18で358回目

公共空間

公共空間とは、個人に属さない公(おおやけ)の空間。「公の」という言葉からは「官製」ということが連想されるが、公的に整備された空間でなくとも、一般に開放されている公共性の高い空間も含まれる。公共の広場、公園空地、学校、駅、病院、図書館、劇場、街路等にある人が集えるスペースなどが、あてはまる。

出典 フリー百科事典ウィキペディア(Wikipedia) 一部編集

公共空間となる施設の管理制度

公物の場合の例

道路法・道路管理者 第一條 この法律は、道路の整備を図るため、道路に関して、道路の指定及び管理、構造、保安、費用の負担区分等に関する事項を定め、もつて交通の発達に寄与し、公共の福祉を促進することを目的とする。

河川法・河川管理者 第一條 この法律は、河川について、洪水、渇水、高潮等による災害の発生を防止し、河川が適正に利用され、洪水の正常な機能が発揮され、及び河川環境の整備と健全がされるようにこれを総合的に管理することにより、国土の保全と開発に寄与し、もつて公共の健全を保持し、かつ、公共の福祉を促進することを目的とする。

民間施設の場合の例

建築基準法上の「公開空地」 空地の利用・建築行政上の制約がある
軌道系統前広場など 広場の利用・主として交通優先

公共空間活用の背景を考える

公共空間は余剰か？ とすれば、どこで余剰か？

- 人口の増加を前提とした道路等の整備計画
- 公共施設整備の進展、リスク回避のための安全側仕様

一方で

- 人口減少、少子化(学校の統合、廃校等)
- 人口移動(東京一極集中、郊外化)
- 市町村合併に伴う都市機能配置空間の集約と余剰
- 高齢化の進展に伴う外出機会の減少(住宅団地男性等)
- ネット販売、宅配の進出に伴う外出来店者の減少
- 海外事例の普及(旅行経験者の増大)
- 国民の価値観の多様化(複数目的同時提供、タイムシェア)

公共空間・例えば、「道路」空間内での飲食営業を考える

オープンカフェの効果

1. 道路空間で人間が滞留することで、「賑やかな街」になり、エリアとしての魅力が増す。⇒**賑わいの創出**
2. 歩き疲れた時に休憩できる施設があると、さらに遠くまで買い物に行ってくれるようになる。⇒**回遊性の向上**
3. 1箇断面の、人間が直接目にする部分をデザインすることで、かなり都市的な風景にすることが可能である。また、見る対象である広場の中に建を下ろすことで、自らが見られる対象。すなわち風景の一部になる。⇒**都市景観の向上**
4. 公共空間の管理者である市町は、これまで収益をまみ出さなかった土地(ストック)から現金収入を得ることができ、⇒**行政財産の有効活用による歳入増**

商業地において重要な要素は「歩行者空間の豊かさ」であり、多くの商店街では補助金を得て歩道に石畳を入れたり、アーケードをかけたたりしている。さらに歩道を使ったオープンカフェやイベントを実施すれば、商業地の活性化・ブランド化に大きな相乗効果が出せる。

公共空間の活用

欧州の都市を訪れると必ずお目にかかるオープンカフェ、広い歩道や広場の一角を仕切って、歩道沿いの店舗が店の一部として使っている。

パラソルやテントの群は申請になりがちな都市の景観にリズムを与え、回遊性の向上や賑わいの創出にも大いに寄与している。

広島市にもかつて表になると道路上に屋台があった。現在でも博多の屋台は有名だ。また、意外と知られていないが、都市計画関係者の間では、呉市の屋台が有名。これらは、常設でなく時間占有となっている。

欧米におけるオープンカフェの歴史は意外と長く、パリなどの例外を除くと、概ね20〜40年程度である。欧米の都市と云えばオープンカフェは歴史的、自然発生的なものというよりは、賑わい創出の意図を持った「政策」として実施されている。日本国内でも1970年代から同様の試みがなされ、最近、法的なハードルを越えられるようになった。

以下15ページまで記述は、「Anch-Heehins 広島の建築 オープンカフェの裏」を一部参考とした。
<http://www.anch-heehins.net/anch-heehins/04/04opencafe/04opencafe.html>

道路内でのオープンカフェはなぜできなかったか

道路を使う場合は右図に示すように道路管理者による「道路占用許可」と所轄警察署長による「道路使用許可」の二つが必要となる。しかしながら、道路法・道路交通法のどちらにもオープンカフェについては該当する記述がないため、許されるのが困難なのが想定されない。つまり、個別具体的なケースごとに協議(話し合ってから納得してもらうこと)が必要になる。さらに、保健所の許可も必要となる場合がある。こうしたことから、全国各地の意欲ある市がオープンカフェ実現へ試行錯誤を繰り返した結果、越えなくてはならないハードルが明らかになった。

公共空間の種類と許認可権者

公共空間	許容	許認可を行う者	権限法
道路	道路占用許可	道路管理者(市町区)	道路法
	道路使用許可	所轄の警察署長	道路交通法
公園	公園占用許可	公園管理者(市の公園のみ)	都市公園法
	公園使用許可	公園管理者(市の公園のみ)	公園法
河川	河川占用許可	河川管理者(国または自治体)	河川法
	河川使用許可	河川管理者(国または自治体)	河川法
広場空間	一時占用	警察署長	警察官制法
	利用協議	広場の管理者(自治体)	広場の利用の目的に関する法律

道路でのオープンカフェを阻む2つのハードル

(ハードル1) 法令の想定外の事項であり、実現にはその都度法解釈と協議が必要。道路管理者(自治体)は、オープンカフェのような道路上の常設店については、道路法に該当する記述がなく、許可なのか禁止なのか、決めていない。

(ハードル2) 警察は、原則として交通阻害要因となるものに道路使用許可を出さない。警察は、道路交通法に基づきスムーズに交通を営むことに注力しており、道路は滞りなく通行するためのものと捉えている。オープンカフェのように、道路幅を狭め交通に支障を及ぼすような行為を認めることは、「道路交通法の趣旨に背く行動を取っている」ということになり理屈が立たない。また、自分の所轄内だけと違うことをするわけにはいかない。

警察では、道路交通法の運用について、厳格に指導される。ただし地域の存りで道路を使う場合は許可される。これは、「交通を営むる恐れがないもの、交通を阻害する恐れがあるものは社会の責務上やむを得ないもの」については利用許可となっている。

そこで、意欲のある自治体はまず社会実験を行い「交通を阻害する恐れがない」という「公益性が高い」ことを証明して、警察に指導するといった方法を試みる。現在では、保安署と警察が連携して行われたおかげで警察の指導にも柔軟性が出てきており、「ハードル2」も以前ほど厳しいものではなくなっている。

道を活用した地域活動の利導のためのガイドライン(改定版) 平成26年3月国土交通省道路局

ハードルの克服

道路を使う上でのハードルをどう克服したかについて、整理すると次のとおりである。当時は警察庁通達もなく、市と警察の協議は難航した。

オープンカフェ実現を阻む3つのハードル(赤字) + 社会実験でクリア(緑字)

(ハードル1) 法令の想定外の事項であり、実現にはその都度法解釈と協議が必要。社会実験として、とりあえずの判断・解釈で行う。道路管理者自らが参加している実行委員会が道路占用許可を取得するので、事業の公益性は証明できる。

(ハードル2) 警察は、原則として交通阻害要因となるものに道路使用許可を出さない。まず実施場所として、十分な幅員を持つ緑地状の歩道が選ばれている。また、実行委員会は交通を阻害しない配慮を行うと警察に約束する。さらに常設ではなく期間限定である。(※最終的に警察は社会実験ということで許可を出したが、実施にあたって違反駐車防止や暴走対策を求めた)

平和大通りオープンカフェ社会実験

広島市の場合、先ず市側関係「カフェテラス推進部」の活動(平和大通りにてテールを並べて寄付金によるコーヒーを入れる活動)によって公共空間活用の余地が形成され、次に青年会議所がイベント「オープンカフェナイト」として実施し、その後行政が参加して社会実験に発展。オープンカフェを許可の対象とする流れが生まれていった。現在は、平和大通りでの社会実験は終了しており、元安川・京橋川の沿岸緑地カフェが施行されている。

平和大通りの社会実験実現は、以下のような理由がある。

- 法令に該当する記載がなく、罰則も無いため、どのような問題が発生するのかわからないという不安があるのか、最終的に成立するのかわからない。まずは実験を行い、どのような仕組みが必要なのか考える材料とした。
- 最終的には道路法・道路交通法等の改正を国に要望したが、そのためには「国民は改正を望んでいる」ことを立証しなくてはならない。だが、オープンカフェは体験してみないと良さは分からないし、実はニーズが全然ないかもしれないので、実験的に実施し市民(店舗・客の双方)の意向を探りたい。
- 期間限定の実験ならば「お祭り」の例により警察の理解を容易にする。

社会実験の実施内容

実施年	1998年(初年度試行)	1999年
実施主体	「平和大通り有効活用実行委員会」が主催	
実施場所	平和大通りは広島市が管理する道路。幅員100m(緑地帯も道路の一部)	
カフェ名称	カフェ・ド・ヴェール	a カフェ・ド・アザビ b ガーデンテラス
運営形態	実行委員会の運営	実行委員会から民間へ運営委託
面積/面積	160席/838平米	a 100席/800平米 b 140席/700平米
期 間	8/20~9/18	a 8/1~9/30 b 8/1~9/25
営業時間	平日17:00~21:00 土日13:00~19:30	平日17:00~21:30 土日13:00~20:30
来店者総数	9970人	19472人(2回)
備 考	店舗内のステージで市民ライブを実施。土日は隣地の緑地帯でフリーマーケットを開催	店舗前、駅前、営業時間外に拡大ライブアップ演出の実験を行う

公共空間の賑わい利用の分類

- 1 道路・公園等利用
 - 祭り・イベント利用
 - 市・マルシェ利用
 - 屋台・カフェ利用
 - パフォーマンス・ギャラリー利用
- 2 河川、海面利用
 - 遊覧
 - レストラン等
- 3 立地形式
 - 地先型
 - 独立型
 - 移動型

3. 東京都新宿区「モア4番台オープンカフェ」	
事業主体	都庁都市計画局建設部
実施場所	新宿三丁目モア4番台(赤道)
経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H17 道路占用許可によるオープンカフェ設置の社会実験を実施 ・H21 都市再生特別措置法に基づき特別道路占用区域を指定(会館前の事例) ・H24.10 倉庫施設、広告物の占用許可を受け、事業実施中
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンカフェ事業 ・まちの賑わい創出と違法駐輪・駐車防止のため、事業主体が、駐輪禁止を促してオープンカフェを設置、運営。 ・広告事業 ・サインボード、デジタルサイネージを設置し、キア等の情報提供とする広告を掲載。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・社会実験の経緯から、都庁、警察を含む協議会を設立して継続的に協議を重ねることにより合意が形成。 ・社会実験が進展することにより、歩行者の通行への影響も長期的に軽減し、警察協議を円滑化。
効果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンカフェを創出し、事業主体が継続的に道路の維持管理を行うことにより、違法駐輪・駐車率の減少が減少。 ・休日にはオープンカフェに行列ができ、まちの賑わいも顕出。 ・広告料収入により、運営自転車対策の啓発活動などを継続して行うための財源を確保。

PM4～PM4出典 道を活用した地域活動の円滑化のためのガイドライン(改定版) 平成28年3月国土交通省道路局

5. 長野県長野市「観光歩道委園地区」	
事業主体	観光歩道委園実行委員会(株)まちづくり長野
実施場所	長野中央通り(観光歩道委園)(赤道)
経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H13 道路空間の再編成などを実施 ・H26.3 都市再生特別措置法に基づき特別道路占用区域を指定 ・H27.3 倉庫施設、広告物の占用許可を受け、事業実施中
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・路上イベントの開催 ・ポールデンジャー(穴開き5m×9m)に観光歩道委園へむけのポスターを掲載、電工・販売・行商等各種店舗で観光歩道委園実行委員会を創設して運営。 ・オープンカフェ事業 ・観光歩道委園開設(平成27年4～5月)に、「ばいばい」(旧)歩道部分で、(株)まちづくり長野が運営するオープンカフェを開設(27日営業)。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者優先の歩道事業として歩道途中、歩道幅、歩道の石畳などを先行整備された道路空間を活用して、イベント運営やオープンカフェを設置。 ・地元商工会が、道路の清掃活動、駐輪場の案内などの交通整備を実施するほか、店舗地域では景観立地の検討や歩道幅の確保などの、課題を自らもてなしの取組も実施。
効果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「歩行者優先」、「歩いて楽しいまち」をコンセプトにした道路事業としてイベントオープンカフェ事業と併せて実施することにより、道路空間の魅力を向上し、観光地としての賑わいを創出。

6. 大阪府大阪市「グランフロント大阪」	
事業主体	(一社)グランフロント大阪TMO
実施場所	大阪駅北地区(赤道)
経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H16.7 大阪府が、オープンカフェ設置を促すまちづくり基本計画を策定 ・H24.3 協議により設立した関係事業者が、エリアマネジメント組織であるグランフロント大阪TMOを設立 ・H24.11 都市再生特別措置法に基づき特別道路占用区域を指定 ・H25.1 倉庫施設、広告物の占用許可を受け、事業実施中
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンカフェ事業 ・グランフロント大阪のビル沿いに整備したゆとりある歩道空間に、オープンカフェを創設。 ・広告事業 ・オープンカフェの周辺などに、良好な景観の形成にも資する広告物、パナール広告を掲載。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・市のまちづくり部署が中心となり、道路管理者、警察を含む関係機関と連携を強化して運営。 ・協議により設立した関係事業者が、歩道部分のグレードアップ整備や民間による道路の維持管理への協力を、自主的に実施。 ・事業主体が、違法駐輪防止物の撤去や違法駐輪が発生後、
効果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートによると、「魅力的な空間が形成」、「まちの賑わいを感じること」の評価。 ・道路占用許可の特例制度を更に活用するためには、道路管理者や警察などに対し、他地域との違いや必要性の必要性について、明確に説明することが必要。

参考4 道路空間の活用事例

1. 北海道札幌市「大通すわろうハウス」	
事業主体	札幌大通まちづくり株式会社
実施場所	札幌市中央区大通駅周辺(赤道 56号)
経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H21.9 大通駅周辺の再開発が中心となり、札幌大通まちづくり株式会社(H23.12 北海道の都市再生整備推進法人(現在は都市再生推進法人)に指定)を設立 ・H23.3 都市再生特別措置法に基づき特別道路占用区域を指定 ・H25.6 倉庫施設、広告物の占用許可を受け、事業実施中
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンカフェ事業 ・サブテナテナイロ(仮称)及び、(仮称)の歩道にそれぞれオープンカフェを設置し、事業主体が運営。 ・広告事業 ・広告物や看板を設置し、オープンカフェと一体となった広告を掲載。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興活動、違法駐輪への注意喚起など、道路の維持管理への協力も兼ねて、占拠料を削減。 ・事業主体が、市のまちづくり担当と密着から協働して地味な活動により、合意が形成。 ・オープンカフェと一体となった広告を掲載することにより、景観の向上やまちづくり事業費の確保に寄与。
効果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートによると、利用者は概ね満足し、地域の魅力向上に寄与しているとの評価。 ・冬期間の景観の維持方法について検討が必要。

4. 神奈川県横浜「日本大通りオープンカフェ」	
事業主体	日本大通り活性化委員会
実施場所	日本大通り地区(赤道)
経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H14 日本大通りファンカフェ&ギャラリー2002として、9日開催限定で、オープンカフェや路上イベントを実施 ・H17 道路占用許可によるオープンカフェ設置の社会実験を実施 ・H18.4 道路法に基づきテーブル、椅子などの占用許可を受け、事業実施中
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンカフェ事業 ・歴史的地域が多彩な文化発信地であり、歩行者優先の道路整備が行われた観光歩道となっている日本大通りに、複数のオープンカフェを設置。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・地元商工会と事業者からなる日本大通り活性化委員会が、議決案と協定を結び、道路の占用許可、使用許可を得る。出店に関する調整も実施。 ・協定の広さ(13.5m)の歩道にオープンカフェを設置。 ・事業収益は各出店者のものとする一方、住民会の費用にまつ歩道等の費用を確保。
効果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・観光歩道となっている日本大通りにオープンカフェを設置することにより、賑わいを促進。 ・様々な個性を持った店舗がオープンカフェに参加し、日本大通りの魅力が向上。

7. 愛知県名古屋「久屋大通オープンカフェ」	
事業主体	久屋大通オープンカフェ推進協議会
実施場所	久屋大通(赤道)
経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H12 路上イベントの開催時に道路関係者としてテーブル、椅子などを設置 ・H16 久屋大通オープンカフェ推進協議会を設立 ・H18 道路占用許可によるオープンカフェ設置を試験的に実施 ・H19.3 通年実施を前提とし、道路法に基づきテーブル、椅子などの占用許可を受け、事業実施中
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンカフェ事業 ・名古屋市の繁華街である久屋大通に、無料休憩所としてテーブル、椅子、パズル、囲碁などを設置し、オープンカフェを運営。 ・事業主体となる久屋大通オープンカフェ推進協議会は、久屋大通連合商工会、名古屋商工会連合会、名古屋商工会連合会が中心となる。 ・オープンカフェの運営は、道路に関する店舗の所有者又は借入者が行う。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・道路占用許可の条件及び事業主体が定めた管理基準に基づき、占有者が、歩道の清掃、自転車等の管理などを実施。 ・歩行者の利便に寄与する物件であることから、占用料を削減。 ・歩行者の利便の確保に努めているが、無料休憩所として設置がられているため、事業の継続的な実施に支障が出る恐れがある。
効果と課題	

9. 兵庫県神戸市「三宮中央通りオープンカフェ」	
事業主体	三宮中央通りまちづくり協議会
実施場所	三宮中央通り(赤道)
経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H16.11 オープンカフェ設置の社会実験を実施 ・H18 道路管理-民間協定締結に基づきテーブル、椅子などの占用許可を受け、事業実施中
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンカフェ事業 ・三宮駅近くの三宮商業街と呼ばれる通りで、市の企業的なイベントとして、継続的にオープンカフェ、パナール広告などを設置。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・道路下の地下鉄駅通に併せて、H13に民間整備事業(車線減少、歩道幅確保10m以上)を実施した場所を活用。 ・商業関係団体(店舗数約130店)からなる事業主体と神戸市が道路-管理関係協定を締結し、出店者が、歩道の清掃、雑草の維持管理、美観や治安・防犯の確保などを実施。
効果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・歩、駅の定期的なイベントとして実施しており、通年実施するために、景観など調整が必要。

【ワールドカフェルール説明】

まちトーク2018

第2部 ワールドカフェ
公共空間での楽しみ方・遊び方を考えよう！

ワールドカフェとは!?

—ルール説明—



ワールドカフェとは!?

ワールドカフェとは・・・



- カフェのようなリラックスできる空間で、決められたテーマについて参加者が自由に意見を出し合います。
- 急いで問題を解決したり結論を出すものではなく、お互いの思いや考えを共有し、理解を深め合うことが目的です。
- トークはメンバーを入れ替えながら3回行います。あなたも参加者全員が話し合っているような効果が得られ、参加者同士の一体感が高まります。



ワールドカフェとは!?

ワールドカフェの流れ

ルール説明
▼ ディスカッション I (20分)
▼ テーブル移動
▼ ディスカッション II (25分)
▼ テーブル移動
▼ ディスカッション III (25分)
▼ 最初のテーブルに戻る
▼ まとめ (15分)

ワールドカフェとは!?

トークテーマ

『公共空間での楽しみ方・遊び方を考えよう!』



道路



河川



公園




商店街

ワールドカフェとは!?

ルール説明① ディスカッション I

- テーブルごとに対象となる公共空間（道路、河川、公園、商店街）を設定しました。
- 公共空間でどのように楽しみたいか、遊びたいかなど、自由に考えてみましょう。
- 意見やアイデアをえんたんに直接記入し、グループのみんなに発表しましょう。
- 発表を終えたら次の人にボタンタッチ、全員が発言できるようにしましょう。



特定の場所を想定して発言してもOK!

ワールドカフェとは!?

ルール説明② ディスカッション II～III

- テーブルファシリテーターから次のテーブルのアルファベットが書かれた紙をもらい、次のテーブルへ移動しましょう。
- えんたくんは2枚目へ。
- 「前のグループではこんな意見がありました」とテーブルファシリテーターより簡単に説明します。
- これを2回繰り返します。



メンバーをシャッフル!

ワールドカフェとは!?

ルール説明③ まとめ

- 各自、最初にいたテーブルに戻ってください。
- 3回のディスカッションを踏まえ、自分自身が感じた「公共空間の活用を進めるために必要なものはこれだ!」といった“キーワード”を考えてみましょう。
- テーブルファシリテーターよりお配りするまとめシートに記入後、グループ内でそれぞれの考えを話し合い、理解を深め合います。



私が重要だと思ったキーワードは○○です

ワールドカフェとは!?

どんなトークをする?

- 良いところは?悪いところは?
- どんなことをやってみたい?
- どんな機能がほしい?
- 何かしる事例を知っている?
- 夜の賑わいを生み出すためには?
- インバウンド観光客に来てもらうには?
- お金を稼ぐにはどうしたらいい?

など



ワールドカフェとは！？

ワールドカフェのエチケット

対談を楽しむ

結論を無理にまとめる必要はない！
参加者との対談を楽しもう。

話をよく聴く

話すばかりではなく、他の人の話によく耳を傾けよう。

“質問”して広げる

質問することで理解が深まり、対話が広がるかも。

否定しない

多様な意見を受け入れ、それに触発される自分自身を楽しもう。

書く！書く！つなく！

思いついたことや話したいことなどのキーワードを書いたり絵を描いたりしながら、対談を続けていこう。
それらを録でつなぎ関係を示すことで何が発見があるかも。

テーマにフォーカス

新しい視点は限られた対談の時間を消費することに。

レイアウト変更！

受付時に配布した記号の場所に移動してください。

ステージ



移動後は円になって座ってください。

2.2 建コンのPR活動に向けた検討

2.2.1 活動概要

都市計画やまちづくりに興味のある高校生・大学生等を対象として、都市計画建設コンサルタントのPRを行うため、パンフレットや活動材料の作成について検討した。パンフレットの作成や具体的な活用方法については、次年度以降検討する予定である。

2.2.2 検討結果

PRを行うにあたっての、形態・媒体・紙面構成等について、各社と意見交換し、今年度はパンフレット等の材料づくりを行った。各社からの意見は以下の通りである。

	内 容
形態	チラシ（A4 両面）、冊子、パンフレット
媒体	今年度はPPT等でとりまとめ、次年度以降詳細に作成
紙面構成（案）	①都市計画・まちづくりとは ②身近な話題提供（生活とのつながりを紹介） ③業種別の役割（公務員、コンサルタント、シンクタンク、NPO・・・） ④建設コンサルタントとは ⑤業務事例紹介・実現例 ⑥先輩社員の声・仕事の流れ ⑦建設コンサルタンツ協会、地域計画委員会の紹介 ⑧建設コンサルタントの目指し方

この紙面構成（案）をもとに、以下の内容について、PPTを作成した。

1.都市計画・まちづくりとは

都市計画がまちづくりにどのように関わっているかを、身近な事例を使って紹介する。

2.社会資本整備の流れ

社会資本整備の大まかな流れを示し、建設コンサルタントの立ち位置を紹介する。

3.建設コンサルタントの紹介

建設コンサルタントで働く各社社員に、建設コンサルタントを志望した動機ややりがいをインタビューする。

都市計画、まちづくりに関わる仕事

建設コンサルタンツ協会中国支部技術部会
地域計画委員会

1 都市計画、まちづくりって？

復建

・私たちが暮らすまちには、山や川、海などの自然や、住宅や道路、公園、工場、学校など様々な施設が存在しています。
・これらが無秩序に整備すると、自然環境や生態系に悪影響を与えるとともに、住みにくいまちになってしまいます。
・都市計画とは、誰もが暮らしやすく秩序ある都市を目指すため、土地の使い方や建物の建て方、自然環境の保全など様々な観点から「まちづくりのルール」を定めるものです。

道路

身近な道路からトンネルや橋梁整備により地域を結ぶ幹線道路や高速道路まで、通勤や通学、観光、物流などの日常生活・経済生活を支える道づくりが必要です。

鉄道

身近な鉄道・地下鉄・路面電車や新幹線など、時間が正確で、人や物資を大量輸送でき、省エネルギーで環境にやさしい輸送手段としての期待が高まっています。

・
・
・
・
・



防災

地震、津波、洪水、ゲリラ豪雨、火山噴火、豪雪等、多発する自然災害や都市災害等から国民をまもるため、国土や地域の強靱化が必要です。

生活産業基盤

生活や産業に不可欠な電機を供給する水力発電や農業や工業へ利用させるダム、食生活を支える農業や林業、水産業等、多くの産業環境の基盤づくりが必要です。

港・空港

国際競争力強化と国民生活の質の向上に向け、国内や世界との交流、輸出入をはじめ外国人観光客等、輸送力強化に向けた港湾・空港整備が必要となります。

河川・海岸

台風や豪雨による氾濫からの治水、農業や発電等への利水のほか、身近な河川環境整備、また海岸の侵食や高潮などによる越波対策や海岸環境対策が必要です。

その他

社会資本整備を進める上では、事業の初期段階における環境調査、地質・地盤の調査や、機械・電気、廃棄物処理等、各種工事に係る計画・管理等も必要です。

復建

1 都市計画、まちづくりって？

※極力、被らないように紹介
担当各社から情報提供いただけないか

コメント

身近な業務事例を紹介

- ・事業名
- ・事業の分類（道路事業、河川事業等）
- ・場所
- ・写真

身近な業務事例

- ・事業名
- ・事業の分類
- ・場所
- ・写真

身近な業務事例を紹介

- ・事業名
- ・事業の分類（道路事業、河川事業等）
- ・場所
- ・写真

身近な業務事例

- ・事業名
- ・事業の分類
- ・場所
- ・写真

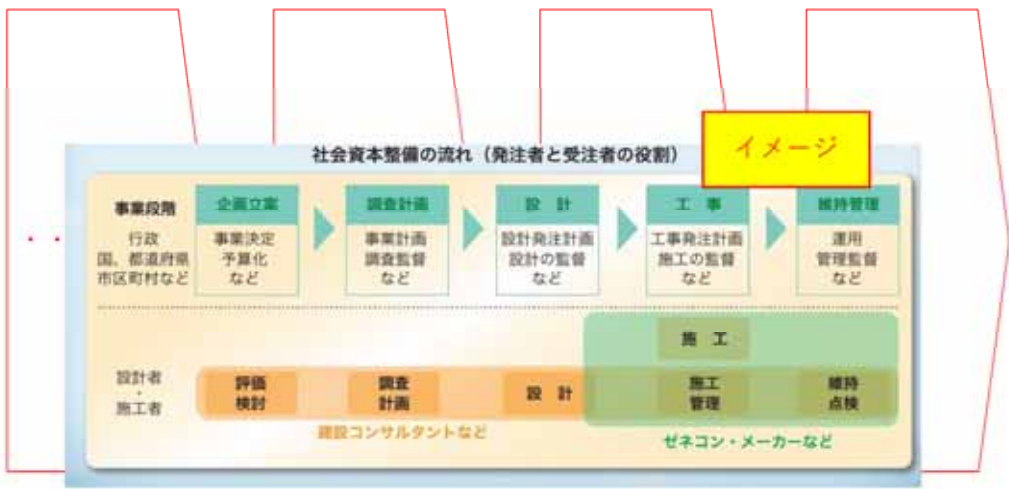
イメージ

エイト

2 社会資本整備の流れ

※社会資本整備
のフローと役割
を示す

コメント



3 建設コンサルタントの紹介

建設コンサルタントで働くスタッフに、次の質問をしました。

- Q1 どうして建設コンサルタント会社に入社されたのですか？（志望動機）
 Q2 普段、どのような仕事をされることが多いですか？（普段の仕事）
 Q3 仕事をしていて「嬉しい」と感じることは？（嬉しいと感じること）
 Q4 仕事をしていて「タイヘン」と感じることは？（タイヘンと感じること）
 Q5 都市計画、まちづくりに関わる仕事のおすすめポイントは？（おすすめポイント）

<p>Aさんの場合</p> <p>【入社年数】入社●●●年目 【最終学歴】●●●大学院●●●科卒業 【こんな人】</p> <p>A1（志望動機） </p> <p>A2（普段の仕事内容） </p> <p>A3（嬉しいと感じること） </p> <p>A4（タイヘンと感じること） </p> <p>A5（おすすめポイント） </p>	 <p>写真</p>	<p>Bさんの場合</p> <p>【入社年数】入社●●●年目 【最終学歴】●●●大学院●●●科卒業 【こんな人】</p> <p>A1（志望動機） </p> <p>A2（普段の仕事内容） </p> <p>A3（嬉しいと感じること） </p> <p>A4（タイヘンと感じること） </p> <p>A5（おすすめポイント） </p>	 <p>写真</p>
--	---	--	---

<p>Cさんの場合</p> <p>【入社年数】入社●●●年目 【最終学歴】●●●大学院●●●科卒業 【こんな人】</p> <p>A1（志望動機） </p> <p>A2（普段の仕事内容） </p> <p>A3（嬉しいと感じること） </p> <p>A4（タイヘンと感じること） </p> <p>A5（おすすめポイント） </p>	 <p>写真</p>	<p>Dさんの場合</p> <p>【入社年数】入社●●●年目 【最終学歴】●●●大学院●●●科卒業 【こんな人】</p> <p>A1（志望動機） </p> <p>A2（普段の仕事内容） </p> <p>A3（嬉しいと感じること） </p> <p>A4（タイヘンと感じること） </p> <p>A5（おすすめポイント） </p>	 <p>写真</p>
--	---	--	---

● 「建設コンサルタント協会」のご紹介

- わたしたち、「建コン協」は、正式名称を「一般社団法人建設コンサルタンツ協会」と言い、昭和38年の設立以降、社会資本整備に関わる知見と知識を提供できる専門家集団として、ボランティア活動、各種フォーラム、著作物などを通じて、本協会及び建設コンサルタントの情報発信と社会的認知度を高めることをねらいとして、活動しています。
- 本稿を編集・作成した中国支部技術部会地域計画委員会では、これまでに平成18年度から7年間は「自転車とまちづくり」をテーマとし、平成25年度からは、自転車の視点からだけのまちづくりではなく、安心・安全、賑わい、景観、環境など、総合的なまちづくりにおける様々な課題について探ることを目的として活動してきました。
- 平成29年度からは、『公共空間を活用したまちづくりのあり方』をテーマに活動中です。
- 今回、都市計画・まちづくりの仕事の魅力や楽しさを発信するべく、都市計画やまちづくりに興味がある方、よくご存じでない方など、多くの方々に向けたPRパンフレットとして本稿を編集・作成しました。
- 少しでも多くの方に、都市計画・まちづくりの仕事の魅力や楽しさが伝わるよう、今後も様々な活動に尽力したいと思います。

2.3 小学生向けの利用マナー教材の更新

2.3.1 活動概要

2009年度に、小学生への正しく安全な自転車利用方法の普及のため、利用のルールやマナーについてイラストで示した「下敷き」を製作し、広島市内の小学校へ配布した。

今年度は、2017年に行われた道路交通法改正により、自転車の交通違反に対する取締りが強化されたことを踏まえて、一部、ルールに係る掲載内容を変更する等の更新を行った。

2.3.2 活動成果

(1) 更新したデザイン

更新したデザインを次頁より示す。

(2) 製作部数と配布

- 製作部数：3000部
- 配布について

配布は、次年度（2019年4月以降）に広島市教育委員会と調整を行い、市内小学校への配布を予定している。

（小学校への配布見込みは2850部であり、残り150部は別の機会での活用を見込む）

自転車の乗り方をチェック!

10のしつものに答えて、
○の数を数えてみよう。



2
けいたい電話や
イヤホンなどを
したまま走った
ことがない。



1
雨の時は
カサをささずに
カッパを着て走っている。



3
友だちと
横一列になって
話しながら走らない。



4
ブレーキが
良くきく自転車に
乗っている。



5
自転車の二人乗りを
したことがない。



6
日がくれたらライトを
つけて走っている。

君は正しく自転車に 乗れていますか?



Copyright(c)2004
HIROSHIMA TOYO CARP.
All rights reserved.



7
交差点では
一時停止している。



8
自転車はちゅう輪場以外には
置いたことがない。



9
歩道を走る場合は歩いている人に
道をゆずっている。



10
信号は青になってから
わたっている。

君のひょうか

○の数が少なかった君は
乗り方を覚えてね!

○の数=10こ(満点)
名人

すばらしい!君はみんなの
手本だ!まちがった乗り方を
している人がいたらちゅう
うしてあげるようにしよう。

○の数=8こ以上
達人

すばらしい!
しかし完備な自転車乗
りにはまだなれていない!
君はまだまだ伸びるぞ!!

○の数=4こ~7こ
一人前

やるね~!
でもゆだんしているところ
があるぞ!もう少し気をつ
ければさらに良くなるぞ!

○の数=1こ~3こ
見習い

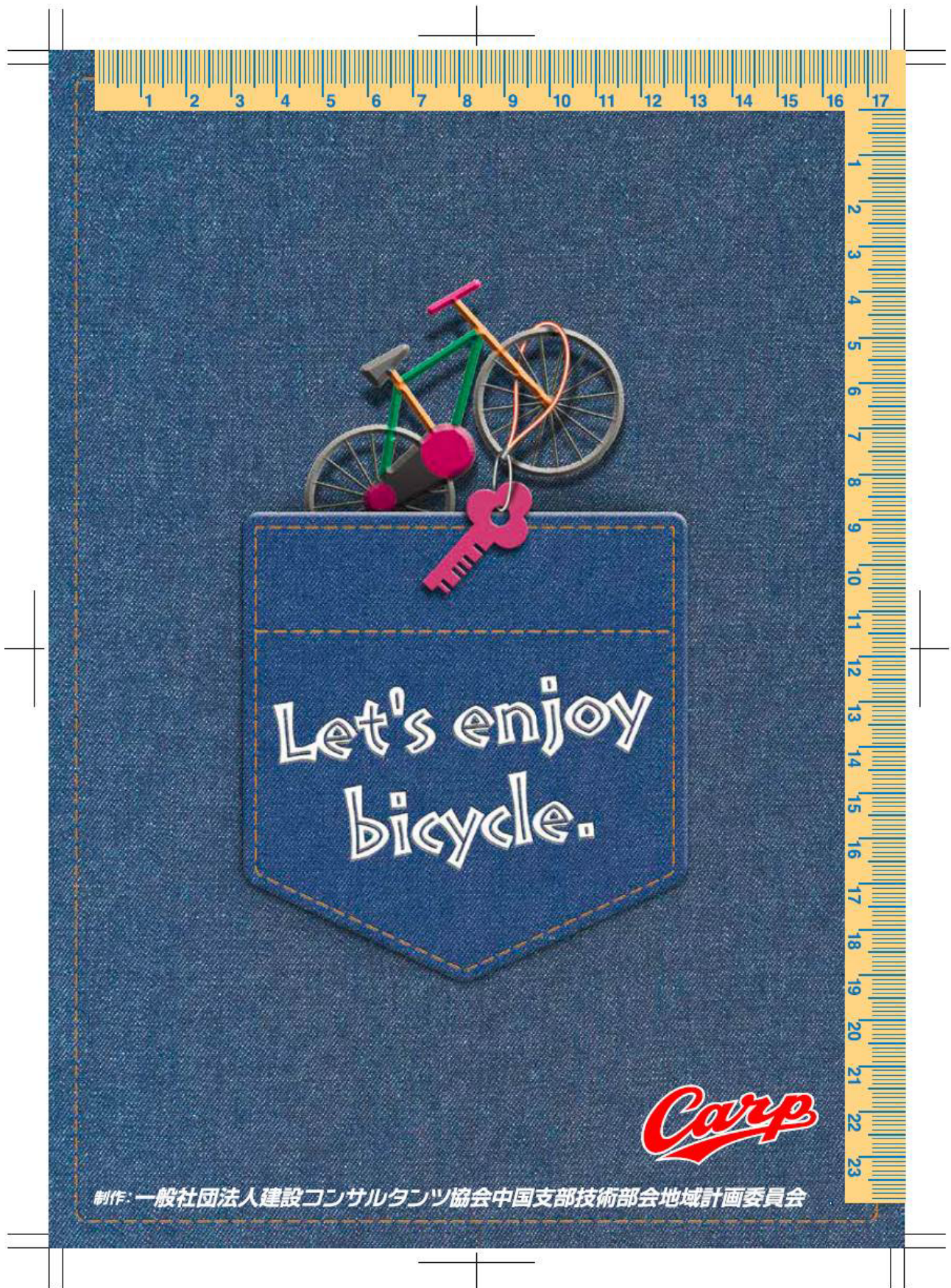
まだ安全とはいえないね。
しっかりルールを守って
まわりの人や自分の身を
守ろう。

○の数=0こ
初級者

まだまだだね。
交通じこやあぶない目に
あわないように正しい乗
り方を身につけよう!

自転車交通安全イラストは、交通安全総合ネットワーク「Cross Road」内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付交通安全対策担当の提供イラストを元に制作しました。

(ウラ)



2.4 まちづくり出前授業

2.4.1 活動概要

広島市立三篠小学校(西区)の総合的な学習の時間において、下表の通り、出前授業を実施し、子どもたちのまちづくりや環境保全等への関心を高め、意識啓発を行った。

テーマ	まち(三篠)のやさしさ・ユニバーサルデザイン(講師:中電技術コンサルタント(株)森島誠司)
実施日	平成30年6月29日(2コマ)
対象者	三篠小学校3学年(児童130名+教員6名)
概要	JR横川駅を中心としたまちのユニバーサルデザインについて、PPTによる説明やクイズ形式での出題、車イスでの通行体験や透水性舗装の浸透実験など実物サンプルを使った仕組みの解説やルールなどについて講義を実施しました。児童は後日、実際に街を調査し、新聞にまとめて発表しました。
	
<p style="text-align: center;"> 質問する児童 車イスの乗車通行体験 透水性ブロックに驚く児童 </p>	

テーマ	大切なまち(三篠)の環境(講師:中電技術コンサルタント(株)森島誠司)
実施日	平成31年1月18日(1コマ)
対象者	三篠小学校4学年(児童130名+教員8名)
概要	学校を取り囲む太田川(放水路・旧太田川)や三滝山、廃棄物の埋立後に整備された竜王公園の歴史等を通じ、自然環境・生活環境・3R等についてPPTでの説明を中心に講義を実施しました。児童は後日、実際に太田川放水路での調査や清掃活動を実施し、発表もしました。
	

2.5 都市政策研究ゼミナールの開催

2.5.1 活動概要

若手技術者の育成を目的として、有識者を招聘し、都市政策研究ゼミナールを開催した。

なお、平成29年度（平成30年1月）にはプレ講座を開催しており、次年度以降も継続して開催する予定である。

2.5.2 開催状況

開催状況は以下のとおりである。

講師：松田 智仁氏（広島市江波山気象館 館長）

日付	回数	題目	会場	参加人数
平成30年1月10日	プレ	都心活性化	中電技術コンサルタント	29
5月23日	1	賑わい創出	パシフィックコンサルタンツ	26
8月1日	2	水の都	復建調査設計	19
9月5日	3	地域の魅力づくりⅠ	荒谷建設コンサルタント	10
11月7日	4	地域の魅力づくりⅡ	パシフィックコンサルタンツ	11
平成31年1月9日	5	多新型都市づくり	パシフィックコンサルタンツ	11
			延べ参加人数	106

参 考 資 料

- 1 . 活動メンバー一覧 参考-1
- 2 . 活動会議議事録 参考-2
- 3 . 活動メンバー感想 参考-21

1. 活動メンバー一覧

H30年度 建コン協(地域計画委員会) 登録メンバー一覧(2018.7.5時点)

	会社名(五十音順)	所属	氏名
1	(株)荒谷建設コンサルタント	地域デザイン部 地域計画課	長谷山 弘志
2		"	田辺 博樹
3		" 副委員長	岡本 隆彦
4		"	日向 雄人
5	(株)エイト日本技術開発	中国支社 都市環境・資源・マネジメント部 都市環境グループ	吉岡 伸也
6		中国支社 都市環境・資源・マネジメント部 都市環境グループ	三好 花保
7		中国支社 都市環境・資源・マネジメント部 マネジメントグループ	森岡 佳菜
8	(株)サーベイ・リサーチ・センター	広島事務所 調査課	田中 純二
9		広島事務所 企画課	藤本 健二
10		広島事務所 調査課	山本 武士
11		広島事務所 企画課	齋藤 典明
12		広島事務所 調査課	奥田 良太
13	(株)地域未来研究所	中国四国事務所	田中 雅宣
14	中電技術コンサルタント(株)	営業部 中部営業所	森島 誠司
15		事業企画部	高田 禮榮
16		都市整備部 都市施設グループ	藤岡 義久
17		" 副委員長	向井 敬治
18		"	織田 恭平
19		"	一松 晃弘
20		道路交通部 第一グループ	水木 智英
21		"	難波 秀太郎
22	(株)長大	地域・交通企画部(広島)	奥津 奉斉
23		"	小山田 哲郎
24		"	佐藤 裕治
25		"	大山 貴志
26		監理部(西日本)	山光 涼平
27		社会環境3部	久家 幸一郎
28		"	小野 香苗
29		"	古川 竜司
30	パシフィックコンサルタンツ(株)	中国支社 交通基盤事業部 道路室	浦元 智生
31		"	藤見 俊彦
32		"	傅 梟雄
33		"	逸見 啓輔
34	(株)福山コンサルタント	中四国支社 交通計画グループ	竹野 剛
35		"	江刺 宏紀
36		中四国支社 地域・交通計画グループ	吉田 郁美
37		"	和田 浩輔
38		"	松本 隼宜
39	復建調査設計(株)	" 地域計画課 委員長	天野 佑介
40		"	笹岡 亮太
41		"	大塚 健裕
42		"	松本 雄樹
43		"	本田 達郎
44		大阪支社 技術部 道路開発技術課	小田 雄司
45	ランドブレイン(株)	広島事務所	三木 脩平
46		"	野村 秀一郎

2. 活動会議議事録

(1) 第1回活動議事録

日 時	2017年4月18日(水) 18:30~20:00
場 所	中電技術コンサルタント株式会社(幹事)本館1-1会議室
参加者	荒谷:岡本隆彦、日向雄人、エイト:吉岡伸也、森岡佳菜、三好花保、サーベイ:藤本健二、奥田良太、齋藤典明、地域未来:田中雅宣、中電:藤岡義久、向井敬治、一松晃弘、長大:山光涼平、大山貴志、福山:吉田郁美、復建:天野佑介、松本雄樹、本田達郎、ランドブレイン:三木脩平、パシコン:浦本智生、藤見俊彦、傅梟雄、逸見啓輔 計 24人
議事概要	<p>1. 平成30年度の参加メンバー(変更の有無)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布したメンバー表で問題ない。 ・会社によっては7月異動があるため、必要に応じて見直しする。 <p>2. 平成29年度活動の会計報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定した予算をほぼ活用。予算で印刷した観光ガイドの配布先と部数について各自連絡する(下記参照)。 <p>3. 平成30年度活動の予算およびテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献活動について、従来のものだけでなく希望があれば受付する。 ・各社から一言、今年度取り組みたい内容について報告。 【キーワード】エリマネ、事例調査、観光、外国人ゴミ、PFI事例収集、フォーラム開催、広島市への落とし込み、提案、ヒアリング、水辺の空間、広島に当てはまるもの等 ・昨年の活動を引き続き実施し、年末のフォーラム開催に向けて取り組む。 ・次回までの宿題として、<u>各社活動テーマの具体案を検討する。</u> <p>4. HPリニューアルの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動報告書、会議の様子を掲載する。 ・これまで作成したマップ等を掲載する。 <p>5. 都市政策研究ゼミナールの予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目はパシコンさん会議室で開催。 ・今年度活動に適した講座から実施するとよいのではないか。 ・開催方針については委員長、副委員長に一任し先生と協議し決定する。 <p>6. 観光ガイドブックの配布先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の施設に配布する場合は、許可等が必要となる。 ・昨年度配布先で追加希望があれば申し出する。

7. その他

- ・全国エリアマネジメントネットワークシンポジウム 2018inHiroshima
(5/18 開催 13:30～17:00)
準備等の要請は今のところなし。参加者は各自申し込みを行う。
- ・とやまに来てみんサイクリングラリー
(4/22 開催 10:00～14:30：受付 4/2～16)
- ・昨年度報告書は作成途中である。引き続きメンバーのコメントを募集。

8. 今後の予定

[今年度の開催予定]・・・幹事は建コン協会員での輪番制

開催予定	回数	幹 事
5/15	第 2 回	福山コンサルタント
6/20	第 3 回	長大
7/19	第 4 回	荒谷建設コンサルタント
8/22	第 5 回	復建調査設計
9/19	第 6 回	パシフィックコンサルタンツ
10/17	第 7 回	中電技術コンサルタント
11/14	第 8 回	福山コンサルタント
	フォーラム	

- 以上 -

(2) 第2回活動議事録

日 時	2018年5月16日(水) 18:30～20:00
場 所	株式会社福山コンサルタント(幹事) 中四国支社 5階会議室
参加者	<p>荒谷建設コンサルタント : 岡本隆彦、日向雄人 エイト日本技術開発 : 吉岡伸也 サベイ・リサーチ・センター : 奥田良太 地域未来研究所 : 田中雅宣 中電技術コンサルタント : 高田禮榮、水木智英 長大 : 山光涼平、小山田哲郎 パシフィックコンサルタンツ : 浦本智生、藤見俊彦 福山コンサルタント : 吉田郁美、江刺宏紀、和田浩輔 復建調査設計 : 天野佑介、大塚健裕 ランドブレイン : 三木脩平</p> <p style="text-align: right;">計 17人</p>
議事概要	<p>1. 平成30年度活動のテーマの具体案(各社より報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各社、活動内容案を報告。 今年度は、以下2つの活動を主軸とする。 公共空間利活用について学生を含めた意見交換を行う「まちトーク」(WS形式等) 建コンのPR活動(学生向けの出前講座または自由討論) 次回会議で、委員会メンバーを2班にわけてワークショップを行い、各活動の具体案を検討する。 <p>2. 都市政策研究ゼミナールの予定</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月23日のゼミに向けた宿題を送付すること。(5.17締め切り) 別の宿題(水の都)は、23日に持参すること。 <p>3. 観光ガイドブックの配布先</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光ガイドブックの配布先候補を報告。 別の配布場所として、広島港や宮島口(廿日市観光課)を追加する。 ガイドブック配布担当は以下のとおり。 広島市・バス協会 : 復建調査設計 ブランドコーポレーション・サンモール : 地域未来 ピースくる・SOKOIKO : 中電技術コンサルタント <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員会の活動時間・曜日について各社の意向を把握。 今年度試行的に日中開催を実施してみることとする。 次回開催は、会議開始を16時として、その後懇親会とする。

5. 今後の予定

[今年度の開催予定]・・・幹事は建コン協会員での輪番制

開催予定	回数	幹事
6/20(水) 16:00-	第3回	長大 (懇親会:サーベイ・リサーチ・センター)
7/19	第4回	荒谷建設コンサルタント
8/22	第5回	復建調査設計
9/19	第6回	パシフィックコンサルタンツ
10/17	第7回	中電技術コンサルタント
11/14	第8回	福山コンサルタント
12月予定	フォーラム	

議事概要

- 以上 -

(3) 第3回活動議事録

日 時	2018年6月20日(水) 16:00～17:30
場 所	広島市青少年センター
参加者	<p>荒谷建設コンサルtant : 岡本隆彦、日向雄人 IIT日本技術開発 : 吉岡伸也、三好花保、森岡佳菜 サバ・イ・リサーチセンター : 奥田良太、斎藤典明 中電技術コンサルtant : 向井敬治、藤岡義久、織田恭平、難波秀太郎、一松晃弘 長大 : 山光涼平、小山田哲郎、大山貴志 福山コンサルtant : 和田浩輔 復建調査設計 : 天野佑介、大塚健裕 ランドブレイン : 三木脩平 パシフィックコンサルtant : 藤見俊彦</p> <p style="text-align: right;">計 21人</p>
議事概要	<p>1. 平成30年度活動のテーマの具体案(ワークショップ)</p> <p>公共空間利活用について学生を含めた意見交換を行う「まちトーク」(WS形式等) H30年度 フォーラム「まちトーク」の開催について、以下に示す4案を抽出した。 主たる参加者は大学生をターゲットに内容を検討した。</p> <p>(1) 建コンのPR活動(大学/高専)で収集した公共空間利活用案を題材にした開催 建コンのPR活動で参加者を公募</p> <p>(2) まち歩き手法(現地を確認 ワークショップを実施) ターゲットとなる公共空間が課題(市民球場跡地 or 平和大通りなど)</p> <p>(3) ワールドカフェスタイル(学生だけでなく一般の参加者も公募する) 各テーブルでのテーマ決定が課題</p> <p>(4) 従来のフォーラムと同手法での開催 パネリストの選定と依頼等が必要</p> <p>上記4案から、各社開催型式を選び内容の概要を整理する。(次回会議で各社発表) 共通事項として有識者による講演はどの案の場合も行う。</p> <p>建コンのPR活動(学生向けの出前講座または自由討論) 自身が働く将来像が見えていない学生をターゲットにPR活動を実施</p> <p>(1) パンフレットの配布 パンフレットを配布し、要望があれば学校訪問し、授業の一環として説明 工学関連の学校だけでなく、経済学や環境工学等幅広い分野への配布を実施</p> <p>(2) ポスターセッション(学祭等でのブース設置) ワークショップイベントの開催(公共空間で利益を得ることへの意見収集等) 簡単な就職相談</p> <p>(3) 対象者 高専の1,2年生であれば建コンの情報が少ないため効果大の可能性あり (大学生なら1,2年生が対象) 学校へのアポ取りは建コン事務局を通して連絡</p> <p>上記で抽出された案に対し、各社で実施案を取りまとめ次回会議にて発表する。</p>

2. 都市政策研究ゼミナール 今後の予定について

第2回ゼミナール・・・8/1：復建調査設計にて開催予定

第3回ゼミナール・・・9/5：荒谷建設コンサルタントにて実施予定

第3回の開催テーマについて要望があれば天野委員長まで連絡すること。

3. 観光ガイドブックの配布状況について

概ねの配布は完了している。

4. その他

- ・本日の委員会 日中開催の感想と今後の実施について

日中開催については特に問題ない。ただし、繁忙期が近づいてくる10月以降は発注者との協議と重なる可能性も高くなるため、今後の開催については出欠確認の際日中開催と定時以降開催を判断する。

- ・HP 更新情報（報告書の投稿状況等の連絡）

報告書のアップロードを近日中に行う。

過年度の報告書については、アップロード制限容量への分割作業を実施中
作業完了後、随時アップロード予定

- ・その他伝達事項

7/1 第1回 JBCF 広島クリテリウム開催（自転車のイベント）

会場：広島市商工センター付近

7/1 第1回広島を元気にする『まちなかスタジアム』シンポジウム

会場：広島国際会議場 国際会議ホール「ヒマワリ」

5. 今後の予定

[今年度の開催予定]・・・幹事は建コン協会員での輪番制

開催予定	回数	幹事
7/19	第4回	荒谷建設コンサルタント
8/22	第5回	復建調査設計
9/19	第6回	パシフィックコンサルタンツ
10/17	第7回	中電技術コンサルタント
11/14	第8回	福山コンサルタント
	フォーラム	

(4) 第4回活動議事録

日 時	2018年7月19日(木) 18:30~20:00
場 所	(株) 荒谷建設コンサルタント会議室
参加者	<p>荒谷建設コンサルタント : 岡本隆彦、日向雄人 地域未来研究所 : 田中雅宣 中電技術コンサルタント : 向井敬治、織田恭平、難波秀太郎 福山コンサルタント : 吉田郁美、松本隼宜 復建調査設計 : 松本雄樹 ランドブレイン : 野村秀一郎</p> <p style="text-align: right;">計 10人</p>
議事概要	<p><u>1. 平成30年度活動のテーマの具体化</u> ①公共空間利活用について学生を含めた意見交換を行う「まちトーク」(WS形式等)</p> <p><u>議論のまとめ(決定ではなく、案として)</u> まちトークプログラムは、基調講演、話題提供、ワールドカフェ形式のWSとする。 (資料番号8を参考)</p> <p>集客、WS運営はひろしまジンの平尾学長に相談 基調講演、ワールドカフェのテーマは中振連の若狭氏に相談 8/1の都市政策ゼミの前 or 後に改めてミーティング <u>宿題</u> 建コンからの提供する情報のネタ出し WSプログラムのネタ出し(最終的に若狭氏との相談を踏まえて決定) ミーティング時間はあまり長く確保できないので、簡潔に。</p> <p><u>議論の概要</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生、一般市民から幅広く意見収集する方針は各社共通 ・開催形式はワールドカフェ形式のWSを実施する意見が多く挙げられた ・ワールドカフェ形式はメンバー内に経験者が少なく、メンバーの技術研鑽の意味でも取り組んでみたいとの意見があった。ワールドカフェ形式のスキルをお持ちのひろしまジンの平尾学長にコーディネーターを依頼してはどうか。 ・まちトークの集客力確保や、まちづくり等に前向きな参加者を募集するため、ジンの講義の一環としてまちトークを開催してはどうか。 ・まちトークと類似の活動との差別化を図るため、議論した内容を実現させることを目指す必要があり、「利用可能な公共空間」などを提示する必要がある。 ・基調講演も含め、中振連の若狭氏と連携し、テーマ出しを検討してはどうか。 ・岡山をフィールドとしたフォーラム開催は、エイトさんのみに多大な負担をかける懸念があることや、現状でワールドカフェ形式のノウハウの蓄積がないことから、今年度は広島開催として、第2弾以降で広島以外での開催を検討してはどうか。

議事概要

②建コンのPR活動（学生向けの出前講座または自由討論）

議論のまとめ（決定ではなく、案として）

学祭などでのPRは、建コン側・学校側の準備期間等の課題もあるため、来年度以降で実施を検討。

今年度はパンフレットやPR活動材料の作成に注力。形式は現状で問わない。

内容は、“身近にある都市計画”で親しみやすい内容にする。

宿題

“身近にある都市計画”のネタ出し

“計画が実現したもの”のネタ出し

こちらの宿題提出は、8/22 第5回会議時でOK

議論の概要

- ・呉高専の学祭は10月末開催で、経験上、学校側の準備等を考えると8月には打合せ用の企画概要資料などを作成しておく必要があり、準備期間が短い。
- ・今年度は建コンHPにアップできるようなパンフレットやPR活動材料を作成して、来年度以降にPR活動をしてはどうか。（PR活動の幅を広げつつ、資料のパリエーションも増やしていく）
- ・PR活動はパンフレットだけでは物足りないことから、アンケートや体験活動も同時に行うなどの工夫が必要かもしれない。
- ・動画でCMを作ってみるのはどうか。（建コン九州支部の事例を参考に）
- ・特定の人に負担が集中する方法は避け、メンバーで協力してできる内容とした方が良い。
- ・土木系出身者以外で、建コンに就職した社員に話が聞ければ、本活動の参考になるのではないかな。
- ・建設技術フェア（中部）、県主催イベント、学校への派遣講師として建コンが参加している事例がある。また、広島県建設工業協会は広島工業高校（6月）、呉高専（12月）、西条農業高校（6月）に建設業界のPR活動を行われており、建コンでもできる可能性が大いにある。
- ・ブース等を設ける場合、クイズやゲーム、食など、人を集める仕掛けが必要かもしれない。
- ・「都市計画」がテーマではあるが、硬すぎる印象がある。なるべく身近な事例を取り上げるなどの工夫が必要である。
- ・広島都心ビジョンをベースに、数年・数十年前に計画したものが今実現している、といった事例も有効。
- ・自転車の100の提言などから実現したものを探してもいいかもしれない（のりんサイクルピースくる）

③役割分担について

→今回は参加会社数が少なかったため、次回以降に持ち越し。8/1に多少議論できれば。

・役割分担の予告（全10社）

フォーラム（まちトーク）：主1社 補助3社

建コンのPR活動：主1社 補助3社

報告書：主1社

H29 フォーラム：荒谷、調査：主福山、補助復建、報告書：中電

2. 都市政策研究ゼミナール 今後の予定について

- 第2回 8/1 18:30～復建調査設計 テーマ「水の都」
第3回 9/5 18:30～荒谷建設コンサルタント テーマ「地域の魅力づくり(第12回)」
第4回 11/7 18:30～会場未定 テーマ「地域の魅力づくり(第13回)」
第4回は年内開催最後のため、懇親会(ゼミ会場から移動)を予定する。

3. 今後の予定

[今年度の開催予定]・・・幹事は建コン協会員での輪番制

開催予定	回数	幹事
8/1	第4回#2	都市政策ゼミの前後開催
8/22	第5回	復建調査設計
9/19	第6回	パシフィックコンサルタンツ
10/17	第7回	中電技術コンサルタント
11/14	第8回	福山コンサルタント
	フォーラム	

- 以上 -

(5) 第4-2回活動議事録

日 時	2018年8月1日(水)20:30~21:30
場 所	復建調査設計会議室
参加者	<p>荒谷建設コンサルタント : 日向雄人 地域未来研究所 : 田中雅宣 中電技術コンサルタント : 向井敬治、織田恭平 長大 : 山光涼平、大山貴志 パシフィックコンサルタンツ : 傅梟雄、逸見啓輔 福山コンサルタント : 吉田郁美、江刺宏紀 復建調査設計 : 天野佑介、松本雄樹、本田達郎 ランドブレイン : 三木修平、野村秀一郎</p> <p style="text-align: right;">計 15人</p>
議事概要	<p><u>1. 「まちトーク」(WS形式等)の進め方について</u></p> <p>議論のまとめ</p> <p>まちトークのテーマ設定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちトークは、建コンの活動報告や基調講演、WS(ワールドカフェ方式)が一連の流れで実施できるよう、テーマ設定に留意する。 ・テーマによっては、建コンの活動報告は省略し、公共空間利活用に関する概要やWSの進め方の概要説明を建コンが行うことも想定する。 <p>WSの具体的な内容の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WSはワールドカフェ形式で開催する。ワールドカフェの具体的な内容について、別紙1を参考に各社検討すること。 ・まちトークの開催日(候補日)は12月23日。 ・WSのコーディネーターをひろしまジーン大学の平尾学長に依頼を予定しており、平尾学長のスケジュールから12/23が候補日である。 <p>会議後に中電が確認したところ、11/4、11/11、1/5、1/6も都合がつくことが確認された。</p> <p>学生の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちトークの開催に向けて、先生からの推薦で学生の参加を募る。開催候補日まで、時間が限られていることから、各社でつながりのある先生をとりまとめる。その際、工学部に限らず、幅広い分野で周知する。 <p>宿題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちトークのプログラム内容の検討(講演やWSのテーマ設定に留意) ・WSの具体的な内容の検討(それぞれのテーブルで議論する内容について) ・学生の参加に向けて、つながりのある先生のリストの作成

議事概要

2. 今後の予定

[今年度の開催予定]・・・幹事は建コン協会員での輪番制

開催予定	回数	幹事
8/22	第5回	復建調査設計
9/19	第6回	パシフィックコンサルタンツ
10/17	第7回	中電技術コンサルタント
11/14	第8回	福山コンサルタント
	フォーラム	

- 以上 -

(6) 第5回活動議事録

日 時	2018年8月22日(水) 18:30~20:00																		
場 所	復建調査設計株式会社 会議室																		
参加者	荒谷建設コンサルタント：岡本隆彦・日向雄人、福山コンサルタント：江刺宏紀・松本隼宜、復建調査設計：天野佑介・小田雄司・大塚健裕・松本雄樹・本田達郎、SRC：奥田良太、中電：織田恭平・一松晃弘、パシ：藤見俊彦 計13名																		
議事概要	<p>1. まちトークのテーマ等について</p> <p>1-1 テーマ(案)・プログラムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ(案)は、地域未来の案を参考に「公共空間の楽しみ方、遊び方、使い方」といった方向性とし検討する。 ・大まかなプログラムは、「挨拶・話題提供」「ワールドカフェ」「総括」とし、基調講演は実施しない。 ・挨拶・話題提供は、松田先生による開催の背景の説明や建コンによる公共空間活用の事例紹介などが想定される。 ・総括は、松田先生や関係団体への依頼が想定される。 ・ファシリテーターとして、ひろしまジーン大学の平尾さんへ中電が依頼する。 ・(次回までの宿題)平尾さんへの依頼のための、まちトークの大まかな内容がわかる企画書(案)を、中電が作成する。 ・(次回までの宿題)テーブル毎で議論する内容については、上述のテーマの方向性を加味し、各社検討する。公共空間の活用に関し議論する対象(場所)は、中電の案の様に「具体的な箇所を限定するテーブル」と「しないテーブル」の両者を設定する方法も考えられる。 <p>1-2 参加者の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(次回までの宿題)今回資料の「各大学・高専の学生集め 担当会社割当て表」に記載のない先生について、繋がりが先生がいる場合、各社リストアップすること。(工学部に限らず経済や経営など幅広い分野で周知する) ・その他、繋がりが関係団体や学識経験者についても各社リストアップする。 <p>2. 建コンのPR活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(次回までの宿題)建コンPR活動について、各社が全体のイメージ案(構成、形態等)を検討する。 <p>3. 平成30年度の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5回で決定した役割分担は、以下のとおり。 <table border="0"> <tr> <td>・フォーラム(まちトーク)</td> <td>主</td> <td>中電コンサルタント</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補助</td> <td>福山コンサルタント(2社未定)</td> </tr> <tr> <td>・建コンのPR活動</td> <td>主</td> <td>復建調査設計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補助</td> <td>未定</td> </tr> <tr> <td>・報告書</td> <td>主</td> <td>荒谷コンサルタント</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補助</td> <td>未定</td> </tr> </table> ・(次回までの宿題)役割が未定な会社は、次回会議までに希望する役割をメールで連絡する。 	・フォーラム(まちトーク)	主	中電コンサルタント		補助	福山コンサルタント(2社未定)	・建コンのPR活動	主	復建調査設計		補助	未定	・報告書	主	荒谷コンサルタント		補助	未定
・フォーラム(まちトーク)	主	中電コンサルタント																	
	補助	福山コンサルタント(2社未定)																	
・建コンのPR活動	主	復建調査設計																	
	補助	未定																	
・報告書	主	荒谷コンサルタント																	
	補助	未定																	

4. その他

- ・まちトークで公共空間活用の事例紹介をする場合、内容の深化が必要である。事例紹介の内容を深めるため、今後、必要に応じて視察の実施などが想定される。
- ・(次回までの宿題) 各社視察の候補地について、リストアップすること。

5. 今後の予定

[今年度の開催予定]・・・幹事は建コン協会員での輪番制

開催予定	回数	幹事
9/19	第6回	パシフィックコンサルタンツ
10/17	第7回	中電技術コンサルタント
11/14	第8回	福山コンサルタント
	フォーラム	

- 以上 -

(7) 第6回活動議事録

日 時	2018年9月19日(水) 18:30~20:30																		
場 所	パシフィックコンサルタンツ株式会社 会議室																		
参加者	荒谷建設コンサルタント：岡本隆彦、福山コンサルタント：吉田郁美、復建調査設計：天野佑介・大塚健裕、SRC：奥田良太、中電：藤岡義久・織田恭平・難波秀太郎・一松晃弘、地域未来：田中雅宣、エイト：吉岡伸也・三好花保・森岡佳菜、ランドブレイン：野村秀一郎、パシ：藤見俊彦 計15名																		
議事概要	<p>1. まちトークのテーマ等について</p> <p>1-1 テーマについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分野(水辺、商店、道、公園(、駅広))で分けるが、場所は限定しない。 ・テーブルごとに広域図(主要箇所記載)を用意するなどしたうえで、発言者には場所+その使い方について発言してもらう。 ・ワークショップを段階的に行い、議論を深掘する方法も考えられる。 (例：1段階目は楽しみ方などで導入、2段階目で使い方のアイデアを議論) ・(次回までの宿題)ワークショップの具体的な実施方法、準備するものを次回委員会までに各社検討する。 <p>1-2 参加者の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講評をいただくのは、松田さん、平尾さんのみとする。 ・松田さん、平尾さんには10月初旬には仮依頼書を持って打診、10月末には正式依頼をしたい。 ・大学の先生への声かけを各社開始する。状況をエクセルリストに記載し、委員会メンバーにオールで配信し、メンバーで共有を図る。 <p>2. 建コンのPR活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PR活動のターゲットは、都市計画分野のコンサルタントを目指すような学生を対象とする。 <p>3. 平成30年度の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割分担については以下のとおり。 <table border="0"> <tr> <td>・フォーラム(まちトーク)</td> <td>主</td> <td>中電コンサルタント</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補助</td> <td>福山コンサルタント、ランドブレイン (SRC、長大)</td> </tr> <tr> <td>・建コンのPR活動</td> <td>主</td> <td>復建調査設計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補助</td> <td>エイト、地域未来、パシ (SRC、長大)</td> </tr> <tr> <td>・報告書</td> <td>主</td> <td>荒谷コンサルタント</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補助</td> <td>なし(必要に応じ依頼)</td> </tr> </table> 	・フォーラム(まちトーク)	主	中電コンサルタント		補助	福山コンサルタント、ランドブレイン (SRC、長大)	・建コンのPR活動	主	復建調査設計		補助	エイト、地域未来、パシ (SRC、長大)	・報告書	主	荒谷コンサルタント		補助	なし(必要に応じ依頼)
・フォーラム(まちトーク)	主	中電コンサルタント																	
	補助	福山コンサルタント、ランドブレイン (SRC、長大)																	
・建コンのPR活動	主	復建調査設計																	
	補助	エイト、地域未来、パシ (SRC、長大)																	
・報告書	主	荒谷コンサルタント																	
	補助	なし(必要に応じ依頼)																	

議事概要

4. その他

- ・今年度は視察は実施しない方針とする。ただし、特に良いところがあれば提案して良い。
- ・代わりに、過去に作成した下敷きの増刷とする。

5. 今後の予定

[今年度の開催予定]・・・幹事は建コン協会会員での輪番制

開催予定	回数	幹事
10/17	第7回	中電技術コンサルタント
11/14	第8回	福山コンサルタント
12/9	フォーラム	

- 以上 -

(8) 第 7 回活動議事録

日 時	2018 年 10 月 17 日 (水) 18:30 ~ 20:30
場 所	中電技術コンサルタント株式会社 会議室
参加者	エイト日本技術開発：三好花保、サベィイサ-センター：奥田良太、中電技術コンサルタント：向井敬治、織田恭平、長大：小山田哲郎、大山貴志、山光涼平、パシフィックコンサルタント：藤見俊彦、福山コンサルタント：江刺宏紀、吉田郁美、和田浩輔、復建調査設計：天野佑介、松本雄樹、本田達郎、ランドブレイン：三木脩平、野村秀一郎 計 15 名
議事概要	<p>1. まちトークの進め方について</p> <p>フォーラムの主旨、目的について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な意義だけでなく、学生目線による参加意義を明確にしたい。 ・学生に交通費として支給することはできない。 <p>第 1 部 話題提供の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Q&A 方式で進めるよう松田さんに提案する。了承いただければ、事前に委員会メンバーで質問を考えておく。 ・メンバーから質問する場合は、質問者をあらかじめ決めておく必要がある。 <p>第 2 部 ワールドカフェの進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーブル移動の際は、次に移動するテーブルを示した札を準備しておく。 ・11 月上旬を目途にワールドカフェのルール説明の資料を中電技術にて準備する。次回会議にて、模擬 WC を実施する。 ・第 2 部では、最終的にテーブルごとに意見をとりまとめる必要はない、ということをしてテーブルファシリテーターの共通認識としておく。参加者の意識がどれだけ変わったかが重要となる。 ・特定の場所について意見を出す参加者がいても問題ない。 <p>・その他意見があれば、随時メールにてやりとりを行う。</p> <p>2. まちトークの役割分担について</p> <p>当日役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会進行：三好さん (エイト) ・趣旨説明、ワールドカフェの説明：向井、織田 (中電技術) ・テーブルファシリテーター、その他当日の役割分担は次回決定する。 ・テープ起こしは第 1 部の質疑部分と第 2 部の総括のみとする。 <p>準備物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地形図：デルタ地帯が入るくらいある程度広い範囲 (1/10,000 程度か) の白図 + 航空写真とする。 ・事例写真：長大、ランドブレインにて場所を選定、準備する。 ・えんたくんを使用する方向で平尾さんと調整する。 <p>チラシ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10 月第 4 週中を目途に完成させ、11 月より順次配布する。 ・印刷は 1000 部を予定する。 ・配布先のリストを中電技術にて作成する (県庁、広島市、交流プラザ、各大学等)

議事概要

3. 建コンのPR活動について

- ・PR 担当会社で目次構成を検討後、各社分担する予定である。

4. その他

- ・下敷きの配布：来月会議を目途に配布先を確定する。
- ・懇親会補助はフォーラムの反省会にて使用する。

5. 今後の予定

[今年度の開催予定]・・・幹事は建コン協会員での輪番制

開催予定	回数	幹事
11/14	第8回	福山コンサルタント
12/9	フォーラム	

- 以上 -

(9) 第 8 回活動議事録

日 時	2018 年 11 月 14 日 (水) 18:30 ~
場 所	株式会社福山コンサルタント 会議室
参加者	荒谷建設コンサルタント : 日向雄人 エイト日本技術開発 : 吉岡伸也、三好花保 中電技術コンサルタント : 織田恭平、一松晃弘 長大 : 山光涼平、小山田哲郎、大山貴志 福山コンサルタント : 吉田郁美、江刺宏紀 復建調査設計 : 天野佑介、笹岡亮太、松本雄樹、本田達郎 ランドブレイン : 三木脩平、野村秀一郎 パシフィックコンサルタンツ : 藤見俊彦 <p style="text-align: right;">計 17名</p>
議事概要	<p>1. まちトークの準備等について</p> <p>1-1 ワールドカフェの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各テーブルのトーク内容は、固定せずに自由な内容とする。 ・1 順目のテーマは、事前に割り振る。2 順目、3 順目は札を引いてランダムとする。なお、3 順目に 1 順目と被る可能性があるが、その際は適宜変更する。 ・関係団体の参加者も各テーブルのメンバーとして参加してもらおう。 ・広島市内の地図は、分野ごとの代表施設を着色し、モニターに映し出す。 ・分野毎の事例集は、各テーブルに 1 冊を用意する。 ・各テーブルのファシリテーターは、以下のとおり決定。 荒谷建設コンサルタント : 日向雄人 エイト日本技術開発 : 吉岡伸也 中電技術コンサルタント : 難波秀太郎 長大 : 山光涼平 福山コンサルタント : 吉田郁美 復建調査設計 : 笹岡亮太 ランドブレイン : 野村秀一郎 パシフィックコンサルタンツ : 藤見俊彦 ・当日の受付は、復建調査設計 : 松本雄樹、エイト日本技術開発 : 森岡佳菜、福山コンサルタント : 江刺宏紀が担当に決定。 ・録音 (ICレコーダ) は、荒谷建設コンサルタントで準備する。 ・写真撮影の担当は、本会議出席メンバー以外も含めて後日決定する。 <p>1-2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生募集の状況確認と各社参加者の連絡の〆切は 11/27 (火) を目途とする。 ・学生には一律 3,000 円の交通費を支給するが、交通費の受け渡しはまちトーク終了後に行う。また、学生参加者の名簿は別途整理する必要がある。 ・テープおこし作業は、外注することも検討。 ・まちトーク当日の会場に入場できる時間を確認し、早めに入場できる場合、ワールドカフェの事前打合せを行う。 <p>2. 建コンの P R 活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議資料 ~ の項目は、建コン P R 活動担当会社にて作成する。 ・社員の声、一日のスケジュール紹介は、会員各社数名が作成する。作成資料のフォーマットは、復建調査設計より後日配信する。

議事概要

3. その他

- ・配布用の下敷きは、平成 22 年度に配布したものをベースとし、作成者名を「地域計画委員会」に修正する予定。スライリーの画像の使用可否を今後確認予定。
- ・平成 30 年度の地域計画委員会は、12/9 のフォーラムで最終回とし、残作業については、適宜メールで確認を行う。

4. 今後の予定

[今年度の開催予定]・・・幹事は建コン協会員での輪番制

開催予定	回数	幹事
12/9	フォーラム	

- 以上 -

3. 活動メンバー感想

田中 雅宣

公共空間活用のテーマに対して建コン協で議論する、となると一般的には高い質のアウトプットを出すべきと思われるのではないかと。ただしその場合、普段の業務と変わらなくなるようにも思える。もちろんレベルの高さは不可欠だが、その上で、業務でできないような取り組みができれば良い、が、アイデアはない。

織田 恭平

「公共空間の利活用」をテーマに2年ほど活動を進めてきましたが、これまでは我々委員会メンバー内だけの議論にとどまっていたものが、ワールドカフェでいろんなアイデアをいただいたことで、我々の活動にも新たな可能性が開かれたかと思います。来年度も、自分たちでできることからコツコツと進めていければと思います。

日向 雄人

今年は災害業務の対応などがあり、活動に参加できない・手伝えなような状況になり、反省しています。現在取り組んでいるテーマの“公共空間の利活用”は、社会的関心が年々高まっており、当委員会の取組み内容も重要なものになると考えられることから、来期は積極的に活動に参加したいと思います。

岡本 隆彦

公共施設の利活用として動き出した2年目。今年はワールドカフェを試験的に行い、学生を含めた市民の方アイデアを得ることができました。そのアイデアをどうやって具体化し、どうやって実現していくのか、ハードルは低くありませんが、そのハードルを越えるアイデアを出していけるといいですね。

和田 浩輔

昨年に引き続き委員会に参加させていただきまして、貴重な体験を多々経験しております。特に一般市民の方が参加されたワークショップは初経験であったため、ファシリテーターによる議論の進め方や、意見の整理の方法については大変勉強になりました。一方で、知恵を吸収する立場に重心を置きすぎて、委員会メンバーとしての立ち位置をおろそかにしてしまった点など反省点もあります。引き続き委員会に参加させていただく中で、学べることは学び、反省点は次回以降に生かしていければと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

松本 隼宜

株式会社福山コンサルタントの松本と申します。私は社会人 1 年目でしたので民間の企業が集まり様々な活動を行っていることを知りませんでした。建コンの活動を通して、他社の方々と話し合いを通して接する機会が得られ普段の仕事では得られないものが得られたと思います。また、活動の中で、建設コンサルタントの仕事内容やまちづくりについて地域の方々に知っていただく機会づくりに係ることができ大変貴重な経験ができました。今回行ったワールドカフェでは事前にどのような形式で進めていくのか、話し合うテーマについてなど何回も協議を重ね決定したため当日は円滑に進められました。これは委員長である天野さんを中心に建コンメンバーが一丸となって活動を行ってきたことが一番の要因だと思っております。来年度からは今年度の経験を活かして建コン活動をより良いものにしていけるように頑張ろうと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

江刺 宏紀

昨年度の活動から引き続き「公共空間の利活用」に関するテーマでの活動となったが、今年度は実際のワークショップ（ワールドカフェ）に携わることができ良い経験になったと感じている。というのも、学生から現在に至るまで交通・地域計画に関連する研究室又は部署に所属していながら、市民が参加するワークショップを経験したことが一度もなく、ワークショップの難しさを遠目ながら感じることができた。今回の活動を活かして、ワークショップのファシリテーターをできるよう経験を積んでいきたい。

吉田 郁美

平成 30 年度は新たな試みとして「まちトーク」を開催し、天野委員長のもと、みなさんの尽力により大成功したことが一番の思い出です。準備など大変だったと思いますが、学生さんや住民の方と色々なトークができて、とても良い刺激になりました。ありがとうございます。

委員会活動の目的の 1 つとして、建コンを世の中に広めることがあると思いますが、これからももっと一般市民の方と触れ合って、業界全体が盛り上がるような活動ができればいいなあと思います！

天野 佑介

今年度で委員長として2年目の年を務めました。まだまだ各人の活動を活性化させるという観点においては、力不足だったと感じています。地域貢献活動をしていくということに主眼を置いた取組をしていくことはもちろんのことですが、メンバーのみなさまが気持ちよく積極的に取り組んでいけるようなお膳立てをしていきたいと考えています。

今年度は、未曾有の豪雨災害に見舞われた年であったためか、まだ若手のみなさまの活動の参加率が低いように感じています。当然、業務優先ではありますが、都市プランナーとして、社会貢献する、地域活動に勤しむことの重要性を認識してほしいと考えています。次年度には転勤や新入社員が入ってきたりなど、メンバー更新があると思いますが、忌憚のない意見を出し合いながら、活発な会にしていきたいと考えています。

笹岡 亮太

公園の活用は身近な事例としてイメージしやすいものでしたが、多様な立場や生活から来るリアルなニーズを知ることができ（特に子育て世代）、公共空間の活用はまだまだ可能性を秘めていると実感したとともに、建コン業界としては、実現のためのハードルとその越え方を模索する必要があると感じました。

一方、至らぬ点が多々あったこと、反省するとともに今後を活かしたいと思います。

また、PR資料作成については、今後の建コン業界のために、資料の活用方法も含めて引き続き取り組んでいけたらと思います。

大塚 健裕

今年度は、新たな活動として「都市政策ゼミ」ということで、都市政策に造詣が深い広島市OBの方を講師に迎え、建コンメンバーを中心に様々な議論を行ってきました。建設コンサルタントとして働く私達とは別の視点からの様々なまちづくりの課題や知見を教わることができ、非常に有意義な活動であったと思います。

さらなる地域貢献、市民のためのまちづくりができるように、今後も本委員会の活動を通じて自己研鑽に励みたいと思います。1年間ありがとうございました。

松本 雄樹

今年度で建コンに参加して、2年目となりましたが、もっと議論に参加できればと反省しています。12月に実施したワールドカフェは、自身初の体験であり、大変刺激を受けるとともに、ファシリテーションの難しさを考えさせられました。今回の体験を次の機会に繋げられるようにしたいと思います。

今年度の活動は夏頃から時間があまり取れず、PR資料の作成が滞ってしまったところを反省しています。来年度の活動では、積極的に会議に参加して行ければと思います。また、多少人見知りなところがあるので、メンバーの方との交流を増やせたらと思います。

本田 達郎

昨年度は、災害対応等もあり、ほとんど活動に参加できませんでした。今年度は、積極的に活動に取り組みたいです。

また、建コンの活動とは別ですが、昨年度「エキキタ」で実施された公共空間を活用したイベントの運営に携わる機会がありましたので、ここで経験したことや感じたこと等も活かし、建コンの場でも意見提示が出来ればと思います。

三木 脩平

今年度は昨年度に引き続き、「公共空間・公共施設の利活用」をテーマに、外部の方を交えたワールドカフェ（WS）などを実施しました。残念ながらワールドカフェには都合がつかず、参加できませんでした。ワールドカフェで使用する事例紹介の資料を作成しました。広島県内で実施されている公共空間を活用した取り組みについてとりまとめましたが、エリアごとでアプローチの仕方や提供する機能が異なっています。みんなを引っ張るキーマンとなる人がいたり、空間利用の仕方としてマーケットとしての機能を持たせているパターンが多岐にわたるように感じました。

現在、広島市内でも公共空間の活用やエリアマネジメント等、注目されつつあるため、次年度に具体的な提案等がまとめられればと感じています。

一松 晃弘

今年度より建コン協の活動に初めて参加させていただきました。「まちづくり」という分野に関わったことがなかった私にとって、月1で行われる意見交換の内容は難しく感じましたが、非常に多くのことを学ばせていただきました。

また、今回開催したまちトークでは、ファシリテーターとして参加させていただきましたが、参加していただいた方々の意見やお話をいただき、非常に有意義な機会になったと感じます。

今年度はいろいろと学ばせていただくことが多々ありましたが、来年度からは建コン2年生として、会議での積極的な発言や、活動自体により深く関わることができればと思います。引き続きよろしくお願ひ致します。

大山 貴志

今回で2年目となった委員会活動では、建設コンサルタントとして、どう地域に貢献していくのかを考えた1年だった。業務内では地域に携わることはほとんどないため、何が社会貢献なのか考えが浮かばなくメンバーに頼りきってしまった次年度の活動ではもっと考える、もっと発言をすることを意識したい。

小山田 哲郎

今年度（H30）からの参加のため、土地勘のない中、中国支部の雰囲気を読む1年にしようと思い委員会活動に望んだ。はじめに感じた印象はメンバーの年齢層に偏りなく活動していることで、様々な人と議論できるのは非常に有意義だなと感じた。また、都市計画ゼミについても以前所属していた委員会にはなく、学生時代に専攻していなかった分野を学ぶことができ貴重な時間であった。